

飛翔

No.92 東京陸協会報

2010(平成22)年1月21日発行

発行

(社)東京陸上競技協会
〒160-0021
新宿区歌舞伎町1-28-3
武井ビル4階
電話 03-3203-6123
FAX 03-5292-0196
HP <http://www.toriku.or.jp>

新しい年を迎えて

会長 石原伸晃



昨年6月の総会で皆様からご推挙いただき、第12代会長に就任いたしましたから半年がたちました。当初は、競技会に伺いまして選手・指導者・役員の皆様といろいろお話をさせていただきました、勉強させていただこうと考えておりましたが、衆議院議員選挙が行われ、大変ご迷惑をおかけいたしました。残念ながらその時間がなかなかとれませんでした。残念ですが、時々の陸協からの報告で、皆様が真剣に取り組み、着実に成果を上げていることを伺っております。

10月2日に、2016年オリンピック開催都市がリオデジャネイロに決定いたしました。東京が破れましたことは返す返すも残念でなりません。ここ数年の間に、これまで東京で開催されておりました国際大会・全国大会のほとんどが他県に移行してしまっている現状があります。1964東京オリンピック・1991世界陸上・男女

国際マラソンなどの競技運営を見事に成し遂げた東京陸協のノウハウを次の世代に継承する機会が大幅に減少してしまったことはなんとももったいないと痛感しております。選手からも観客からも、そして競技役員からも「競技会は東京で！」という声は多くあります。皆さんの声に答えるべく努力してまいります。

当面の目標は2013年の東京国体です。2009年度から「東京国体対策委員会」を中心に活発に活動を行っており、選手強化・審判員養成も着実に進めております。陸上競技を行うメイン会場の「味の素スタジアム」(調布)は改修計画がほぼ固まりました。2010年末より工事に入り、2012年3月にはサブトラックを備えたすばらしい陸上競技場が完成いたします。国体開催まであと3年。全国の皆様から「さすが東京!」といわれる大会にしたいと思っております。

会長就任2年目を迎えます。会員の皆様と共に東京陸協の更なる発展に努力してまいります。どうぞよろしくお願い申し上げます。

『平成21年度を振り返って』

専務理事 田中 利雄



平成21年度も2ヶ月を残すのみとなりました。ベルリン世界陸上のボルトの恐るべき世界新に驚嘆し、尾崎好美(女子マラソン)銀メダル、村上幸史(やり投)銅メダルに歓喜した年でした。また横田真人君(慶応大)が8000m日本新をマークし、白田耕平君(東京高)国体1100mJハードル・女部田亮君(東京高)日本ジュニア1000m・三武潤君(練馬東中)全日中8000m・小野崎桂君(武蔵野東AC)全国小学生80mハードルでそれぞれ優勝し、東京の若い選手が大活躍した年でもありました。小学生から一般まで、東京の選手として誇りを持って競技に打ち込んでいた姿は喜びに耐えません。

私は東京陸協の専務理事に就任いたしました。もともと1年となります。新しい執行部体制の下、従来の組織と仕組みを見直し現状にふさわしい協会運営を目指してこの1年取り組んで参りました。東京陸協は9専門部(会計・総務・広報・競技・審判・記録情報・普及・強化・競技場管理)と、本年度は8特別委員会(東京国体対策・東京国体特別強化・財務マーケティング・新規事業・医事・栄章審査・定款諸規定検討・選挙管理)を設置しております。ここ数年、各組織とも決められた任務はきちんと果たしていただいておりますが、更に一歩進めて新たな取り組みの推進とこれまでの課題の解決、費用対効果への意識という点は不十分だったように思います。東陸の活性化のためにはお互いの情報を交換し、組織間で緊密に連携する必要がありますから、年度途中からではありましたが、競技部・審判部・記録情報部による「競技運営委員会」と、各専門部の「部長・副部

長会議」を設置し、活発な意見交換を行ってまいりました。

東京陸協は2013年の国体を控えております。すでに「東京国体対策委員会」「東京国体特別強化委員会」を中心に、強化・競技運営・施設等につきまして準備を進めております。陸上競技場につきましては改修計画もまとまり、本年末から工事開始となります。しかし、新潟国体における東京チームの成績は、現時点でのものとしても到底満足のいくものではありませんでした。また競技運営におきましても、本年度の東陸主催・主管競技会でいくつかの問題が発生しております。2013年まであと3年の限られた時間と、年間活動費約一億円の予算の中でいかに効率よく取り組み、成果を上げるかということが私に課せられた重要な課題です。

専務理事2年目を迎えるにあたり、私は思いきった東陸改革実現のために以下の取り組みを進めます。

1 「専門部長、副部長会議」の活性化

東陸の課題を横断的にとらえ、専門部間での意見交換を十分に行い、統一した認識のもとで課題解決に当たる。重要課題としては

(1) 「国体優勝」を目標としたトップ選手の徹底強化

(2) 競技会運営の質的向上

2 計画性のある事業展開

厳しい財政状況の中、効率的な資金運用を常に意識する必要があります。特に競技会の精査に取り組む。

先輩方の作り上げた東京陸協のよき伝統を土台とし、その上に時代の変化に対応した様々な新しい取り組みを重ね合わせ、会員の皆様と共に活気ある東京陸協を作っていくと考えております。ご協力をよろしくお願いいたします。

大会記録報告

天皇陛下御座位20年記念

第64回国民体育大会

トキメキ新潟国体が10月2日(金)～6日(火)までの5日間、新潟市中央区の東北電力ビッグスワンスタジアムにて競技が展開された。

国民体育大会陸上競技の種目は種別や年齢区分があり、成年、少年A(高校2・3年生)、少年B(中学3年と高校1年生)、少年共通(中学3年生と高校1～3年生)で男女55種目が割り振られ、競技が行われた。

新潟国体・祝・入賞(一言)

1 中尾真理子

(成年女・5000m7位)(資生堂)

初めての東京代表で緊張しました。1点でも多く取りたかったのですが、レース途中の位置取りなど悪く7位でした。課題も見えましたので、これから生かしたいです。有難うございました。

2 猿山 力也

(成年男・走幅跳2位)(モンテローザ)

優勝できなかったのが悔しいです。東京国体で優勝できるよう、今後、練習を積んでいきたいと思えます。

3 森井 亮平

(成年男・円盤投8位)(日本体育大学)

初めての国体で緊張した部分がありました。東京都の先生方の応援があり、8位入賞することができました。残りのシーズンも頑張っていきたいです。

4 女部田 亮

(少年A100m5位)(東京高3)

気持ちで負けてしまったので、もう一度気持ちを入れ替えて、来年の国体にも出場したいです。

5 館野 哲也

(少年A400H5位)(郁文館高3)

春先から調子が良くなり、インターハイでも9位で悔しい結果だったのととてもうれしいです。都高新も出せたので本当に感謝です。

6 今城 瞳

(成年女子走高跳6位)(玉川大学)

今まで私を応援し支えてくれた東京の先生方・仲間に感謝の気持ちで

いっぱいです。本当に有難うございました。

7 時光 龍一

(少年B100m7位)(立正高1)

自己ベストも出せて入賞できたので満足です。この調子で来シーズンも頑張りたいです。

8 白田 耕平

(少年B110JH優勝)(東京高1)

自己ベストそして大会新も出せて良かったです。この後の大会でも優勝できるように頑張りたいと思います。

9 西野 愛梨

(少女A100H5位)(東京高3)

目標の13秒台を出せなかったのは悔しいですが、厳しい状況の中、入賞できてとても嬉しかったです。応援有難うございました。

10 小林 雄一

(成年男200m4位)(法政大)

4位は不甲斐ない結果です。予選・準決の走りができなかったことが一番の反省点だと感じました。来年は一度二皮むけた選手になって、この国体に臨みたいと思います。

11 井上 七海

(少女共通走高跳5位)(都駒場高3)

勝てる試合だったので、5位は悔しいです。ですが、この結果は自分の鏡なのでこの悔しさをバネにして、来年は日本一を目指します。応援有難うございました。

12 幸田 和記

(少年B円盤投5位)(十条富士見中3)

ランキングは2番でしたが、試合では5番という結果になってしまいました。46mは投げようと思っていたのですが、投げられなかったのが悔しかったです。

13 元吉 雄基

(少年共通走高跳7位)(東京高2)

調子が良くてベストが出せると思っていたのに。03しか跳ぶことができませんでした。でも、入賞したことは素直にうれしかったです。次の試合では今回跳べなかった高さを跳びたいです。

14 女子4×100リレー

(少年A400m8位)

1走 (高橋さやか、武蔵野東中3)

初めての国体で6位入賞という素晴らしい経験が出来てとてもうれしいし、自分の今後に繋がると思います。そして応援してくださいました人達に感謝の気持ちを忘れず、この経験をいかしてこれからも頑張ります。

2走 (岩楯 英枝、尚美大)

国体のリレーでは初めての入賞ができたのでとても嬉しいです。このメンバーが今までの中で一番のチームワークだと思えます。若さがないよりの勝因だと思います。

3走 (利根川由佳、中央大)

今回の国体は3年ぶりで初めてのリレー出場でした。リレーのために呼んで頂き、入賞することが出来て本当に良かったです。この入賞を糧にして、これからも頑張りたいと思います。たくさん応援やサポート、有難うございました。

4走 (中澤まいこ、東京高3)

個人種目で入賞できなかった分、リレーで入賞できて本当に嬉しいです。3回目の国体で初めてのリレー入賞。来年に向けて、もっとパワーアップします。応援有難うございました。



新潟トキめき国体の総括

強化副部長 (女子監督) 下山 良成

今回の当初目標は、東京陸上協会の七力年計画では、天皇杯・皇后杯ともに四位を目標として今日までの強化計画を進めてきた。

また、東京都に提出した「東京国体に向けた長期計画」では、天皇杯七十五点八位、皇后杯二十九点を目標にし、大会に臨んだ。

しかし、実際は天皇杯六十三点三位、皇后杯二十六点二十二位であった。

参加選手の中で優勝者は、昨年少年Bの10メートルハードルで四位に入賞している白田耕平 (東京高一年) 選手ただ一人で、東京都の高校記録を上回る大会記録で、大会を制した。

また、ジュニア層がよく力を発揮し、男子ではほぼ全員が入賞を果たした。女子は全体的に選手層が薄く、苦戦が予想されたが、その通りとなった。そんな中で、中学生の幸田和記 (十条富士見中) 選手が円盤投で五位、高橋さやか (武蔵野東中) 選手がリレーで入賞を果たし、明日につながる結果となった。

参加した選手は、いずれも良く力を発揮したものの、総合力はもう一步であった。特に女子の強化については急務であり、小・中・高・大・実業団と連携のとれた強化体制を作り上げることも重要となる。

今回の国体の結果については、細かな点についてまで、検討し、真に「強い東京」を目指して行かなければならない。

そのためには、競技力のみならず、体調管理のカルテや、メンタル面も含めた選手個々の個性も勘案して、選手の選考をしていかなければならない。

更に、国体に指導に当たるスタッフの増員や、顧問との連携についても再考して、新たな強化体制を作っていかなければならない。

第64回国民体育大会秋季大会・新潟国体・結果報告(平成21年10月2日～6日)東北電力ビッグスワンスタジアム(記載者=正川)

NO	種別	種目	氏名	所属	予選		準決勝		決勝		得点	備考	
					順位	記録	順位	記録	順位	記録			
1	成年	200	小林 雄一	法政大2	1	21"40(+0.0)	1	21"14(-0.1)	4	21"11(-0.5)	5	左大腿部炎症	
2		800	下平 芳弘	富士通	5	1'54"40	→		×		×		
3		110H	八幡 賢司	モンテローザ	×	棄権(右大腿部を炎症)						×	
4		3000SC	篠浦 辰徳	エスピー食品	→		14	8'53"02	×		×		
5		10000W	明石 顕	東大クラブ	→		失格		×		×		
6		棒高跳	田中 宏昌	モンテローザ	→		9	5m10	×		×		
7		走幅跳	猿山 力也	モンテローザ	→		2	7m61(+0.2)	7	3回目			
8		砲丸投	下山 良成	あきる野西中教	→		21	9m93	×		×	教員枠	
9		円盤投	森井 亮平	日体大2	→		8	45m69	1	2投目			
11	少年A	100	女部田 亮	東京高2	1	10"58(+0.8)	2	10"72(+0.0)	5	10"67(+0.0)	4		
12		400H	館野 哲也	郁文館高3	3	52"46	→		5	51"90	4	都高新	
13		ハンマー投	高橋慧二郎	都北多摩高3	→		12	56m23	×		×		
14	少年B	100	時光 龍一	立正高1	1	11"08(-0.58)	2	10"89(+0.4)	7	11"09(+0.6)	2	自己新	
15		110JH	白田 耕平	東京高1	1	14"55(-0.3)	1	14"16(-0.5)	優勝	14"24(-0.7)	8	大会新・都高校新	
16		円盤投	幸田 和記	十条富士見中3	→		5	44m25	4				
17	共通	走高跳	元吉 雄基	東京高2	→		7	2m03	2				
18		棒高跳	大元聡一朗	東京高2	棄権		右足首靭帯損傷		×		×		
19	成少	4×100	時光・川面・女部田・猿山	途中棄権									
1	成年	200	岩楯 英枝	尚美大1	4	24"71(+0.0)	6	24"72(+0.0)	×		×		
2		800	須永 千尋	東京陸協	4	2'08"09	(全体で9位)		×		×		
3		5000	中尾真理子	資生堂	→		7	15'55"75	2				
4		400H	矢野 美幸	中央大	4	59"67	→		×		×	自己新	
5		走高跳	今城 瞳	玉川大4	→		6	1m69	3				
6	少女A	100	中澤まいこ	東京高2	2	12"06(+2.9)	4	12"18(+0.0)	×				
7		100H	西野 愛梨	東京高3	2	14"10(+0.3)	→		5	14"17(+0.4)	4		
8	少女B	100	高橋さやか	武蔵野東中3	3	12"47(-0.1)	5	12"41(+0.0)	×		×		
9		1500	関野由実子	八王子高1	12	4'38"59	→		×		×		
10	共通	走高跳	井上 七海	都駒場高3	→		5	1m69	4				
11		走幅跳	深井絵里奈	東京高2	17	5m49(+1.2)	→		×		×	1回目	
12	成少	4×100	高橋・岩楯・利根川・中沢	1	46"16	3	46"22	6	46"40	3			

天 候			
日	天候	最高気温(°C)	湿度(%)
2金	曇のち雨	23.5	82%
3土	雨のち晴	23.5	55%
4日	晴	23.0	55%
5月	晴	22.5	58%

優 勝 1
自己新 3
大会新 1
都高校新 1

天皇杯 13位 63点
皇后杯 22位 16点

種別得点 (男)	成年	13
	少A	8
	少B	14
種別得点 (女)	共通	2
	成女	9
	少A	0
	少B	0
	共通	7
参加点		10
合 計		63

第25回東日本女子駅伝

準優勝 (東京)

平成21年11月8日(日) 福島市信夫ヶ丘競技場を出発し、17都道県9区間42・195Kmで行われた第25回東日本女子駅伝で、東京は準優勝を飾る。

第1区で13位と出遅れたにも拘わらず2区橋本歩(三井住友生命)が区間6位の成績で追い上げ、5区中道早紀(資生堂)が区間3位の走り7位にまで追い上げる。7区の大槻みちる(拓殖大第一高2年)が、昨年同様に区間の好走を見せ5位にまで追い上げる。

アンカーキャプテン野尻あずさ(第一生命)は、競技場直前で2位神奈川を抜き、5人抜きの離れ技を見せ区間賞と共に準優勝を勝ち取った。1位長野とは、丁度1周遅れであった。

成績

11位	10位	9位	8位	7位	6位	5位	4位	3位	2位	1位
宮城	群馬	山形	千葉	福島	茨城	栃木	埼玉	神奈川	東京	長野
2時間21分49秒	2時間21分41秒	2時間21分16秒	2時間21分08秒	2時間21分07秒	2時間20分58秒	2時間20分36秒	2時間20分29秒	2時間19分57秒	2時間19分53秒	2時間18分36秒



2着でゴールする野尻あずさ選手



準優勝 東京チーム

12位	11位	10位	9位	8位	7位	6位	5位	4位	3位	2位	1位
新潟	青森	北海道	秋田	山形	岩手	岩手	岩手	岩手	岩手	岩手	岩手
2時間22分30秒	2時間23分55秒	2時間24分02秒	2時間25分30秒	2時間26分55秒	2時間30分25秒	2時間30分25秒	2時間30分25秒	2時間30分25秒	2時間30分25秒	2時間30分25秒	2時間30分25秒

東京チーム

監督	部長	監督	監督	監督	監督	監督	監督	監督	監督	監督
長沼 祥吾	馬場 孝	藤本 正隆	中村 新吾	安養寺 俊隆	大槻 みちる	野尻 あずさ	野尻 あずさ	野尻 あずさ	野尻 あずさ	野尻 あずさ

合計タイム 2時間19分53秒

準優勝

区間	氏名(所属)	タイム	通過順位
第1区	藤本 知佐(アコム)	19分56秒	13位
第2区	橋本 歩(第一生命)	13分19秒	12位
第3区	由美子(八王子高校・1年)	10分26秒	11位
第4区	関野 花観(金井中・2年)	9分55秒	12位
第5区	関根 早紀(資生堂)	16分59秒	7位
第6区	石橋 歩巳(八王子高・3年)	13分45秒	8位
第7区	大槻 みちる(拓殖大第一高・2年)	13分00秒	5位
第8区	芹口 望(清新第一中・3年)	10分00秒	7位
第9区	野尻 あずさ(第一生命)	32分33秒	2位
補欠	鈴木 美津希(アコム)		
補欠	須藤 直美(東京高校・3年)		
補欠	浅見 知絵(八王子高・3年)		
補欠	矢萩 史歩(南成瀬中・2年)		

大会総括

東京チーム団長 馬場 孝
去る11月8日(日) 福島市で17都県チームで開催された。今年から全国駅伝同様「ふるさと制度」が導入され中学校、高等学校のどちらかの所在地都県から2名まで出場できることとなり記録向上が予想され大会の盛り上がりを見せた。
東京チームは必ず優勝するを合言葉に監督、コーチ、選手一丸となって3連覇を目指したが健闘むなしく2位という結果で終わり、連覇のむずかしさを痛感しました。

大会記録報告

第25回 全国小学生陸上競技交流大会報告

横浜・日産スタジアム

大健闘！ 男子2名女子1チーム入賞

(入賞3年ぶり、優勝5年ぶりの快挙)

夏休みの締めくくりとして、8月29日に横浜・日産スタジアムに於いて全国小学生陸上競技交流大会が行われました。東陸からは田中右一総監督以下8名の役員・選手22名が参加しました。昨年の12月から中体連が行っている冬期強化練習会や春季選抜合宿に参加するなどしてトレーニングを積んできた成果もあってか、例年ない好成绩を収めることができました。

まず、なんと言っても光ったのは男子80mHに出場した小野崎君(武蔵野東AC)です。予選から圧倒的な強さを見せ、準決勝では12秒01の大会新記録。決勝では向かい風にもかかわらず11秒80で、更に記録を伸ばしほかの選手から一人抜けだしダントツの強さでゴールを駆け抜けました。

もう一人個人種目で入賞したのは男子5年100mの入交君(あきる野かけっこクラブ)です。準決勝では予選の記録から0.4秒短縮し13秒42で2着に入り、決勝に進出。決勝では7位に入賞しました。

競技会の最後を大きく盛り上げたのは女子4x100mRの府中ACチームの活躍です。予選、準決勝ともに危なげなくバトンをつなぎトップでゴール。決勝での期待が高まりました。決勝レースでは岡山のチームとトップ争いを繰り広げましたが、惜しくも届かず2位でした。しかし大活躍の東京チームが一体となって応援し、気持ちよく大会を締めくくることができました。

入賞者結果一覧

男子5年100m

入交大雅(あきる野かけっこクラブ)

予選 13秒87 3位

準決勝 13秒42 2位

決勝 13秒53 7位

男子80mH

小野崎圭(武蔵野東AC)

予選 12秒19 1位

準決勝 12秒01 1位(大会新)

決勝 11秒80 1位(大会新)

女子4x100mR

高橋優花、海上芽来、小林結、岩渕礼実(府中AC)

予選 52秒93 1位

準決勝 52秒93 1位

決勝 52秒56 2位

(文責 氏部和昭)



第60回男子・第21回女子全国高校駅伝

男子第60回、女子第21回全国高校駅伝は、2009年12月20日、京都市の西京極陸上競技場発着コースで行われ、女子(5区間21・0975キロ)では東京代表の八王子高校(井上 洋監督)が1時間12分3秒で20位に入り、近い将来の優勝に期待を持たせました。



男子(7区間42・195キロ)では、国学院久我山高校が、惜しくも43位に終わりました。

なお、優勝は男子は広島世羅高校(2時間4分9秒)が3年ぶり6度目、女子は愛知の豊川高校が2年連続2度目となりました。東京代表の成績は次の通り。

八王子	1時間12分03秒	20位
1区 阿部ゆかり	20分20秒	区間16位
2区 関野由実子	13分30秒	区間14位
3区 石橋 歩巳	10分42秒	区間36位
4区 藤本 花林	10分08秒	区間16位
5区 浅見 知絵	17分23秒	区間29位
国学院久我山	2時間11分23秒	43位
1区 相場 祐人	31分16秒	区間41位
2区 狩野 良太	8分49秒	区間32位
3区 塩田 英輔	25分40秒	区間48位
4区 丸山 慶洋	25分12秒	区間42位
5区 戸田 麻琴	9分14秒	区間37位
6区 長崎 竜也	15分45秒	区間34位
7区 芳賀 俊哉	15分27秒	区間32位

日本陸連 平成22年度 (2010年度) 主要競技会日程 (抜粋)

		日本陸連主催			後援・協力団体 (全国・地域)		
2010年	日	競技会	会場	日	競技会	会場	
6月	4 (金) ~ 6 (日)	第94回 日本陸上競技選手権	丸亀 (香川)				
7月	29 (木) ~ 2 (月)	第63回全国高校陸上	県総合 (沖縄)				
8月	13 (金) ~ 15 (日)	第45回 全国定通制高校陸上	国立 (東京)				
	27 (金) ~ 28 (土)	第26回全国小学生陸上					
9月	19 (日)	2010 スーパー陸上	等々力 (神奈川)	10 (金) ~ 12 (日)	第79回日本学生対抗	国立競技場 (東京)	
				17 (金) ~ 19 (日)	第31回 全日本マスターズ	国立競技場 (東京)	
10月	1 (金) ~ 5 (火)	第65回国民体育大会	県総合 (千葉)				
	15 (金) ~ 17 (日)	2010 日本ジュニア・ ユース選手権	瑞穂 (愛知)				
11月				14 (日)	第26回東日本女子駅伝	福島 (信夫ヶ丘)	
				14 (日)	第5回 アスレチックカーニバル	国立競技場 (東京)	
2011年 1月	16 (日)	第29回 都道府県対抗女子駅伝	京都	1 (日)	第59回元旦競歩	絵画館 (東京)	
	23 (日)	第16回 都道府県対抗男子駅伝	広島				
2月	27 (日)	2011 東京マラソン	東京	20 (日)	第45回青梅マラソン	青梅 (東京)	
3月				13 (日)	第14回 日本学生ハーフマラソン	立川 (東京)	

紹介 クラブ

日本大学法学部陸上競技部

1. 組織、人数等含む運営概況
在籍人数…
58名(男子41名、女子17名)

部長…大井隆義 副部長…伊藤壽馬 渉外…高橋翔子・林圭祐・瀬川敬弘 会計…鎌田令果・中村亮介 イベント…新坂未希・西口慧・堀内誉明
・夏季合宿

(4泊5日…菅平高原)
・冬季合宿(1泊2日山中湖)
・不定期にBBQなどイベント開催

2. 練習会内容

◇活動場所…

原宿・織田フィールド、千駄ヶ谷、府中陸上競技場

◇練習日…毎週水曜・土曜18時(二時間程度)

◇練習内容…各種競

技にわかれ、各自の目標に合わせてそれぞれメニューを立てトレーニングする。

3. 大会参加状況

- 2009年度
- 2/22 全関東八王子 夢街道駅伝競走大会
- 3/15 荒川マラソン
- 5/24 スプリングカーニバル
- 6/21 早稲田大学陸上競



技同好会記録会挑戦会

- 9/12 関東文系学部親善大会
- 10/9 オール日大
- 10/31~11/1 関東クラブ対抗
- 11/15 早稲田大学陸上競技同好会記録挑戦会
- 12/3 関東クラブ駅伝・10月オール日大

陸上が好き。他に理由が必要ですか?
大学生になってから陸上競技を始めた者から幅広いメンバーで楽しく、仲良く、時に厳しく日々活動しています。

大会参加率も高く高校時代の自己記録を更新しようと向上心を持ってトレーニングに励んでいます。

もちろん練習だけでなく年2回の合宿、BBQ、社会科見学などイベントも豊富でメリハリをもって活動しています。

東京城北陸上競技クラブ (城北A・C)

当クラブは2004年12月1日結成したまだ若いクラブです。現在、小学生、中学生、高校生を含めて約80名です。

小学1年生から高校3年生までのクラブで都立城北中央公園のトラック、芝生広場での練習を行っております。

基本的には、正月三が日以外は、毎日練習を行っており、クラブ員各自、自分の時間に合わせて参加している状況です。クラブのモットーは「明るく、楽しく、元氣良く」で競礼儀にも厳しく、速い選手より強い選手になれと、日々、先輩達が後輩に手本を示すようにしております。

指導体制は監督、短距離コーチ2名、中距離コーチ2名でクラブ員各自の能力、性格に合わせて指導を行っております。そのおかげで近年は、小学生駅伝全国大会、中学関東大会、全日中大会、ジュニアオリンピックと出場しております。又、O・Bも箱根駅伝にも出場しており、後輩達の良い刺激になっております。



年間行事は4~10月トラックレース、冬季は各種駅伝大会に出場しております。

又、3月と7月に合宿を行っており、クラブ員合宿に参加を心待ちにしており、楽しく、厳しくつらい合宿になっており心身共に強くなっているようです。

クラブ運営は、一回程、監督、コーチ打合せを行いクラブ員が練習に打ち込める環境づくりを検討しております。ホームページを開設しておりますので是非のぞいて下さい。常時、クラブ員募集です。

クラブ紹介

住友不動産エスフォルタ

新宿区に本社がある「住友不動産エスフォルタ」の社員で構成されたチームです。メンバーは5名。勤務地がフィットネス事業部（直営店：市ヶ谷店・水道橋店）と受託事業部（指定管理の施設：葛飾総合スポーツセンター体育館）に勤務しています。メンバーの中には、2009年のサロマ湖優勝者もいます。

ります。ランニング教室なども開き、多いときには30名ほど集まっています。活動拠点は、皇居・神宮外苑・赤坂御所・葛飾区総合スポーツセンター陸上競技場にてトレーニングをしています。勤務地が異なるため、合同での練習会などは、あまり出来ないうです。そんな環境でも、一ヶ月に数回はメンバー同士が集まって練習をしています。

チームのメンバーの目標はそれぞれで、「マラソン完走」を目標に走っているメンバーや100kmウルトラマラソン・フルマラソンで勝負と記録を目標にしているメンバーもいます。

また、チームの設立目的の一つとして、「ランニングの素晴らしさを多くの人に知ってもらおう」目的もある。



発足して間もない状況で出場した12月の福岡国際マラソン（Aグループ）にメンバー1名が出場。目標には届きませんでしたが、次の東京マラソンでは今回の課題を克服してもらいたいです。3月には荒川マラソンにも2名出場します。今後は、駅伝など多くの大会に挑戦していきたい、活動の枠を広げて行きたいです。

平成21年度賛助会員一覧

- | | |
|-------|-------|
| 村上 進司 | 鈴木 泰彦 |
| 貝賀 貴光 | 永見 寛之 |
| 和泉 士郎 | 角田 紀志 |
| 原 奈津子 | 野坂 裕 |
| 源野 利昭 | 林 明彦 |
| 原 めぐみ | 小林 裕 |
| 島田 博行 | |
- 11月25日現在

平成20年度 財日本陸上競技連盟 表彰

秩父宮章

- 大村邦英（東京高校教諭）
- 野宮孝志（三鷹市協協）
- 椛澤聖子（日本陸連）
- 阿保雅行（日本陸連）

平沼亮三章

- 松岡保雄（都立東大和高校教諭）

春日弘章

- 田中一太（東京高校）

河野謙三章

- 西川孝夫（練馬区立開進第二中学校教諭）

河野一郎章

- 太田晃平（町田市立南中学）

平成21年度 財東京都体育協会 表彰

- 生涯スポーツ功労者
- 伊藤 陽三（東京陸協監事・明大紫交会）
- 生涯スポーツ優良団体
- アコム株式会社

東京マラソン2010ランナー参加者申込み状況

2010年2月28日（日）に開催される「東京マラソン2010」のランナー申込みを、8月31日（月）に締切りましたので、申込み状況をお知らせします。

今大会から、募集期間を1ヶ月に短縮されましたが、マラソン・10kmの全体で過去最高となる約31万人の皆様にお申込をいただきました。

倍率は、定員の約8.9倍（マラソン 8.5倍／10km 13.1倍）となります。

なお、抽選結果につきましては、10月13日（火）以降に申込者全員に通知いたしました。

申込者数合計 311,441人（前回比 19%増）

種目	マラソン〈定員32,000人〉	10km〈定員3,000人〉
申込者数	272,134人	39,307人

抽選結果

種目	マラソン〈定員32,000人〉		10km〈定員3,000人〉				
	一般の部	車いすの部	一般の部	車いすの部	視覚障害者	知的障害者	移植者
申込者数	272,134人	(うち52人)	39,307人	(うち25人)	(うち59人)	(うち212人)	(うち42人)
当選者数	32,000人	(うち21人)	3,000人	(うち18人)	(うち59人)	(うち110人)	(うち42人)

- ・今後、当選者による参加料の振込状況により、追加当選を出すことがあります。
- ・電子メールで申込んだ方は、10月15日から30日まで公式ホームページに当落を発表しました。

参考

過去の当選者人数 ※但し、2007、2008大会の定員は30,000人

2007	マラソン〈定員25,000人〉		10km〈定員5,000人〉				
	一般の部	車いすの部	一般の部	車いすの部	視覚障害者	知的障害者	移植者
当選者数	25,873人	(うち18人)	5,567人	(うち16人)	(うち17人)	(うち77人)	(うち22人)
当選者合計	31,440人						

2008	マラソン〈定員25,000人〉		10km〈定員5,000人〉				
	一般の部	車いすの部	一般の部	車いすの部	視覚障害者	知的障害者	移植者
当選者数	27,500人	(うち17人)	5,500人	(うち17人)	(うち40人)	(うち110人)	(うち30人)
当選者合計	33,000人						

2009	マラソン〈定員30,000人〉		10km〈定員5,000人〉				
	一般の部	車いすの部	一般の部	車いすの部	視覚障害者	知的障害者	移植者
申込者数	226,378人	(うち48人)	35,603人	(うち18人)	(うち57人)	(うち193人)	(うち45人)
当選者合計	261,961人						
当選者数	30,000人	(うち22人)	5,000人	(うち17人)	(うち55人)	(うち110人)	(うち40人)
当選者合計	35,000人						

平成22年度審判講習会日程

	開催日・会場	主催団体	会場へのアクセス
第1回	平成22年3月6日(土) 立川市	東京陸上競技協会	昭和第一学園(立川市) 立川市栄町2-45-8 立川駅北口バス6・7・8・9番乗り場から約10分 西武拝島線 東大和駅からバス「立川駅行き」約20分 立川駅北口から徒歩約20分
第2回	平成22年3月7日(日) 立正大学	東京陸上競技協会 高校体育連盟	立正大学講堂 品川区大崎4-2 大崎駅徒歩5分・五反田駅徒歩8分
第3回	平成22年3月13日(土) 武蔵野市	東京陸上競技協会	武蔵野市総合体育館 武蔵野市吉祥寺北5-11 三鷹駅徒歩15分・東伏見駅徒歩15分
第4回	平成22年3月20日(土) 板橋区	東京陸上競技協会	板橋区グリーンホール 板橋区栄町36-1 大山駅徒歩5分・板橋区役所前徒歩5分
第5回	平成22年3月22日(祝) 青梅市	東京陸上競技協会 青梅市陸上競技協会	青梅市霞共益会館 青梅市野上2-21-5 河辺駅徒歩20分
第6回	平成22年3月27日(土) 府中市	東京陸上競技協会	府中市教育センター 府中市府中町1-32 府中駅徒歩15分

4年後東京で国体開催が決定しておりますので、実力向上のための内容を網羅した講習会として、皆さんと一緒に勉強しましょう。

B級資格取得講習会も同時に実施します。(除く府中会場)

B級資格取得講習会の受講資格は、年齢18歳以上で、身体健全で、人格共に真に公認審判員として、適任と認められる者です。

当日は、ルールブック、審判ハンドブック、筆記具、昼食をお持ち下さい。

受講料は、2,000円です。

東京陸上競技協会の公式物品の販売もありますのでご利用下さい。

会場は、禁煙です。又、駐車場はありません。

物品販売一覧表

品名	単価	品名	単価
審判ハンドブック	1,700	レインウエア S S	11,000
ルールブック	1,800	レインウエア S	11,000
東陸帽子S(白・赤・オレンジ)	2,700	レインウエア M	11,000
東陸帽子M(白・赤・オレンジ)	2,700	レインウエア L	11,000
東陸帽子L(白・赤・オレンジ)	2,700	レインウエア L L	11,000
東陸帽子L L(白)	2,700	白キャップM	2,500
ネクタイ	1,500	白キャップO	2,500
スカーフ	3,800	赤キャップM(審判長)	2,500
胸章(プレートセット)	2,500	赤キャップO(審判長)	2,500
胸章プレート	100	オレンジキャップM(スターター)	2,500
バッチ	300	オレンジキャップO(スターター)	2,500
S級バッチ	2,100	防寒コート S	5,000
審判手帳	400	防寒コート M	5,000
競技日程	500	防寒コート L	5,000
記録集	500		
グランドガイド	500		

平成21年度 予算執行概要 (中間決算) (一般会計)

平成21年4月1日から平成21年9月30日まで

<収 入>				
科 目	平成21年度予算	平成21年度中間	差 異	率
基本財産運用収入	242,000	0	242,000	0.00%
加入団体会費収入	1,795,000	1,865,000	-70,000	103.90%
登録会費収入	17,680,000	19,721,000	-2,041,000	111.54%
登記料収入	5,386,000	7,038,300	-1,652,300	130.68%
加入金収入	1,000,000	595,000	405,000	59.50%
賛助会費収入	2,200,000	2,145,000	55,000	97.50%
競技会運営収入	20,000,000	10,546,140	9,453,860	52.73%
競技会運営補助収入	4,180,000	3,707,700	472,300	88.70%
共催競技会選手派遣収入	1,000	0	1,000	0.00%
共催競技会選手派遣補助収入	700,000	200,000	500,000	28.57%
競技会選手派遣収入	420,000	110,000	310,000	26.19%
競技会選手派遣補助収入	5,000,000	3,156,390	1,843,610	63.13%
選手育成収入	1,000	0	1,000	0.00%
選手育成補助収入	5,000,000	4,701,000	299,000	94.02%
審判育成収入	2,400,000	610,000	1,790,000	25.42%
指導者育成収入	1,000	0	1,000	0.00%
広報情報事業収入	20,000	0	20,000	0.00%
受託収入	22,950,000	0	22,950,000	0.00%
補助金等収入	12,000,000	1,080,000	10,920,000	9.00%
寄付金収入	10,000	0	10,000	0.00%
受取利息収入	15,000	3,380	11,620	22.53%
雑収入	400,000	154,240	245,760	38.56%
事業積立金特別会計繰入金収入	1,000,000	0	1,000,000	0.00%
財政調整積立金特別会計繰入金収入	1,000	0	1,000	0.00%
収入合計	102,402,000	55,633,150	46,768,850	54.33%

<支 出>				
科 目	平成21年度予算	平成21年度中間	差 異	率
(事業費)	76,026,000	26,129,817	49,896,183	34.37%
競技会運営事業支出	26,100,000	18,769,465	7,330,535	71.91%
共催競技会選手派遣事業支出	1,068,000	0	1,068,000	0.00%
競技会選手派遣事業支出	8,623,000	202,446	8,420,554	2.35%
受託事業支出	22,950,000	2,418,104	20,531,896	10.54%
競技力向上事業支出	10,390,000	1,104,790	9,285,210	10.63%
普及指導事業支出	1,041,000	291,665	749,335	28.02%
審判育成事業支出	1,956,000	1,989,272	- 33,272	101.70%
出版事業支出	309,000	274,890	34,110	88.96%
栄章事業支出	207,000	109,000	98,000	52.66%
広報情報サービス事業支出	3,262,000	860,285	2,401,715	26.37%
女子委員会事業支出	120,000	109,900	10,100	91.58%
(管理費)	28,101,400	17,127,683	10,973,717	60.95%
人件費支出	8,740,000	4,559,820	4,180,180	52.17%
賃金支出	1,832,000	1,878,400	- 46,400	102.53%
会議費支出	835,000	708,569	126,431	84.86%
旅費交通費支出	2,430,000	2,078,330	351,670	85.53%
通信運搬費支出	1,000,000	995,983	4,017	99.60%
什器備品費支出	50,000	157,290	- 107,290	314.58%
消耗品費支出	1,200,000	419,617	780,383	34.97%
印刷製本費支出	1,500,000	925,393	574,607	61.69%
光熱水費支出	550,000	269,992	280,008	49.09%
渉外費支出	500,000	171,953	328,047	34.39%
賃借料支出	6,852,000	3,556,710	3,295,290	51.91%
諸謝金支出	250,000	269,500	- 19,500	107.80%
分担金支出	870,000	864,910	5,090	99.41%
登録料支出	1,200,000	0	1,200,000	0.00%
手数料支出	60,000	25,595	34,405	42.66%
雑 支 出	100,000	128,326	- 28,326	128.33%
租税公課支出	70,000	70,000	0	100.00%
保険料支出	12,400	12,400	0	100.00%
修繕費支出	50,000	34,895	15,105	69.79%
事業積立金特別会計繰入金支出	1,000	0	1,000	0.00%
財政調整積立金特別会計繰入金支出	1,000	0	1,000	0.00%
減価償却引当預金積立支出	104,065	0	104,065	0.00%
什器備品購入支出	1,000	0	1,000	0.00%
予 備 費	1,000,000	0	1,000,000	0.00%
支出総合計	105,234,465	43,257,500	61,976,965	41.11%
当期収支差額	- 2,832,465	12,375,650	15,208,115	
前期繰越収支差額	2,832,465	11,079,555	- 8,247,090	
次期繰越収支差額	0	23,455,205	- 23,455,205	

東京陸協新体制



委員会 栄章審査委員会

委員長 高倉 裕
 部員 佐藤三千雄 矢作 和昭
 根本俊臣 梶原 克之
 生方文枝 室井 宏一
 松本忠 浅見 和正
 藤田幸雄 岡本 信夫
 井上敏幸 松岡 保雄
 中村孝生 有澤 政雄

定款・諸規程検討委員会

委員長 有澤 政雄
 部員 青地 清助 石上 敬久
 井上 克巳 小林 稔
 野澤 恒雄 松本 忠
 山口賢司



平成22年度 東京陸上競技協会主要競技会日程(案)

①第73回東京陸上競技選手権大会 兼 第65回国民体育大会東京都代表選手選考会
 平成22年5月1日(土)～2日(日)
 国立競技場・日本大学陸上競技場(ハンマー投げ)

②第26回東京リレーカーニバル
 平成22年5月22日(土)～23日(日)
 江東区夢の島陸上競技場

③第1回東京ナイター陸上 兼 第65回国民体育大会東京都代表選手選考会(新企画)
 平成22年7月18日(日)
 国立競技場

④第26回全国小学生陸上競技交流大会(主管)
 平成22年8月27日(金)～28日(土)
 国立競技場

⑤第5回東京アスレチックカーニバル
 平成22年11月14日(日) 予定
 国立競技場

尚、その他の競技会は関係者と検討をし、今後の日程を決定させていただきます。





社団法人東京陸上競技協会
名誉会長

田 英夫先生を偲んで

副会長 内田 勇

田 英夫先生が2009年11月13日午後8時50分、呼吸不全のため逝去されました。

先生は、東京都出身、東京大学経済学部を卒業され、東京放送調査部長、TBSのニュースキャスター、ジャーナリストとして活躍され、1971年7月より2007年7月まで参議院議員〔東京都比例区〕として6回当選、国政で活躍され、その功績が認められ、勲一等旭日大勲章を授与されました。

平成9年4月1日より平成17年3月31日まで東京陸上競技協会会長、以後名誉会長として東京の、ひいては日本の陸上競技の発展のため尽力され、その功績は高く評価されています。

非常に穏健で、理事の良き相談相手となり、快く対応され、何事にも真剣に取り組んで問題の解決に努力されました。

東京大学時代、陸上競技の短距離選手として、吉岡隆徳先生とともに活躍されました。

先生のご冥福を心よりお祈り申し上げます。

訃報

次の方々がご逝去されました。
心よりおくやみ申し上げ、ご冥福をお祈り申し上げます。

- 11月8日 村岡忠明 (日大桜門)
- 10月1日 牧野 勇 (八王子市陸協)
- 10月29日 嶋村芳子 (日体ク)
- 12月8日 原田律子 (調布市陸協)

ホームページについて

本年の9月7日から東京陸協のホームページを担当しています。

ホームページを担当するにあたって広報部長から「今年から飛翔の発行回数を減らす。代わりにホームページを充実してホームページでいろんな方々に必要な情報をタイムリーに発信していくのも有りです」といわれました。

また事務局から「東京陸協が主催する大会の記録を、大会当日にホームページに掲載するようにしたい。また関係者に伝えるべき項目が発生したらその日のうちにホームページに掲載するようにしたい」といわれました。

先日、以下のようなことがありました。陸上競技大会への申込者が多く、1日では処理しきれないので2日間にわたって競技会を開くことになりそのアナウンスを掲載したことがありますが、このような重要事項も掲載してありますので、常時ホームページをチェックして頂くようお願いいたします。

そのためにも写真や絵も取り入れ、もっと分かり易く楽しいホームページにしなければと思っています。

まず、トップページを開いて下さい。トップページ内の告知板にお伝えしたい項目が要約されています。また最新の項目にはNEWという赤字のマークがついています。

告知板内の下線を引いた箇所や写真等の上にマウスを持っていくとクリックして下さい。きつと皆様にとって必要な情報が飛び出していきます。

みなさんからも要望があれば何なりとご提案下さい。今後魅力ある楽しいホームページ作りを目指していきます。

ホームページ担当 石川 達夫

編集後記

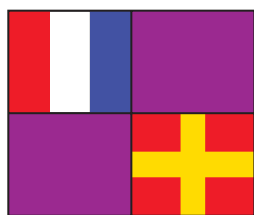
新広報部による会報第2号(飛翔No.92)が出来上がりました。決して満足といえるものではありませんが、一通りご覧下されば幸いです。

前回は、東京AC代表の星野様から、貴重なご意見を賜りました。確かにPCをこなせない方がまだいらっしゃいます。私もホームページが満足に見られない者の一人です。従いまして、広報部では、全クラブ員分に送付を希望されるクラブは登録しておいて、前もって送付するよう、企画しておりますので、どうか指示下さい。

なお、次号は2月の総会終了後できるだけ早めに編集発行致したいと考えております。陸上教室や皆様からの面白い話のコラムも企画したいと考えております。

どうか2010年もよろしく
お願い申し上げます。

- 広報部長 井口 輝男
- 編集班長 大内 邦彦
- 編集員 久保岡佳正
- 森中カツミ
- 高祖 勝市



飛翔

No.93 東京陸協会報

2010(平成22)年5月20日発行

発行

(社)東京陸上競技協会
〒160-0021
新宿区歌舞伎町1-28-3
武井ビル4階
電話 03-3203-6123
FAX 03-5292-0196
HP <http://www.toriku.or.jp>

平成21年度第2回通常総会開催 ＜平成22年度事業計画・予算等承認さる＞

本年度第2回社団法人東京陸上競技協会通常総会は、平成22年2月16日(火)18時より、東京都品川区大崎4-2-16 立正大学341号教室において開催されました。341号教室において開催されました。会員(登録代表者)数377名中、275名(内、委任167名)の出席をもって総会は成立し、議長団には佐藤三千雄氏(練馬AC)と井上克巳氏(立川市)が選出され、議事はスムーズに進められました。

△感謝状贈呈式▽

冒頭に、高額賛助会費納入団体の株式会社マルチプレスの植月照大社長に、石原伸晃会長の感謝状が贈呈されました。

△新規加入団体承認さる▽

1 次の4団体の加入申請が出席者全員の拍手で承認されました。
※バディ陸上クラブ10人
※住友不動産エスフォルタ5人
※東京城北陸上競技クラブ13人
※日本大学法学部陸上競技部36人

△投てき競技会とナイター競技会新設事業計画▽

2 平成22年度事業計画が提案され、承認されました。新しいイベントとして、投てき競技会とナイター陸上が実施されます。競技会の詳細は近く発行される「東京陸協カレンダ12010」をご覧ください。なお、出席者から「東京選手権など、要項



に大会の趣旨を記載するよう」要望があり、了承されました。

△レインコートの購入にご協力を「予算補正の趣旨」▽

3 平成21年度東陸一般会計収支予算の内、収入予算額102,402,000円に、会費収入2,000,000円、事業積立金特別会計からの繰入金4,800,000円、計6,800,000円を加えて

109,202,000円とし、支出予算額104,129,400円に、審判育成事業費7,980,000円を追加して112,109,400円とする補正予算案が提出され、承認されました。その理由は、「スポーツ用品メーカーミズノから購入したレインコートの売れ残り分について支払いを済ませるよう請求があった。売却の都度支払っていたが、1,000着の内、700着超の売れ残りがある。1着16,000円を11,000円に値下げしてもらい、売れ残り分を支払うことにした。そのため補正である。11,000円で全審判役員に購入をお願いしたい。品物の評判は良い。」

△平成22年度予算決まる▽

平成22年度収支予算案が、野澤会計部長から提案され、審議の結果、事業会計における収入予算額は107,758,000円、支出予算額は106,287,400円、収支差額1,470,600円と決まりました。その概要は別表の通り。

平成22年度一般会計収支予算書

平成22年4月1日から平成23年3月31日まで

(単位:円)

科 目	予 算 額	前年度予算額	増 減
I 事業活動収支の部			
1. 事業活動収入			
基本財産運用収入	(328,000)	(242,000)	(86,000)
基本財産運用収入	328,000	242,000	86,000
協会収入	(31,393,000)	(30,061,000)	(1,332,000)
加入団体会費収入	1,860,000	1,795,000	65,000
団体登録会費収入	18,980,000	18,680,000	300,000
個人登録会費収入	7,353,000	6,386,000	967,000
加入金収入	1,000,000	1,000,000	0
賛助会費収入	2,200,000	2,200,000	0
事業収入	(40,051,000)	(37,723,000)	(2,328,000)
競技会運営収入	19,000,000	20,000,000	-1,000,000
競技会運営補助収入	4,180,000	4,180,000	0
共催競技会選手派遣収入	80,000	1,000	79,000
共催競技会選手派遣補助収入	800,000	700,000	100,000
競技会選手派遣収入	420,000	420,000	0
競技会選手派遣補助収入	5,100,000	5,000,000	100,000
選手育成収入	1,000	1,000	0
選手育成補助収入	5,000,000	5,000,000	0
審判育成収入	4,950,000	2,400,000	2,550,000
指導者育成収入	500,000	1,000	499,000
広報情報事業収入	20,000	20,000	0
受託収入	(21,950,000)	(22,950,000)	(-1,000,000)
事業受託収入	21,950,000	22,950,000	-1,000,000
補助金等収入	(12,580,000)	(12,000,000)	(580,000)
補助金等収入	12,580,000	12,000,000	580,000
寄付金収入	(10,000)	(10,000)	(0)
寄付金収入	10,000	10,000	0
雑収入	(445,000)	(415,000)	(30,000)
受取利息収入	15,000	15,000	0
雑収入	430,000	400,000	30,000
繰入金収入	(1,001,000)	(5,801,000)	-4,800,000
事業積立金特別会計繰入金収入	1,000,000	5,800,000	-4,800,000
財政調整積立金特別会計繰入金収入	1,000	1,000	0
事業活動収入計	107,758,000	109,202,000	-1,444,000

2. 事業活動支出			
事業費支出	(73,257,000)	(84,006,000)	(-10,749,000)
競技会運営事業支出	25,546,000	26,100,000	-554,000
共催競技会選手派遣事業支出	1,068,000	1,068,000	0
競技会選手派遣事業支出	8,623,000	8,623,000	0
受託事業支出	17,750,000	22,950,000	-5,200,000
競技力向上事業支出	13,038,000	10,390,000	2,648,000
普及指導事業支出	1,717,000	1,041,000	676,000
審判育成事業支出	2,592,000	9,936,000	-7,344,000
出版事業支出	504,000	309,000	195,000
栄章事業支出	207,000	207,000	0
広報情報サービス事業支出	2,100,000	3,262,000	-1,162,000
女子委員会事業支出	112,000	120,000	-8,000
管理費支出	(33,028,400)	(28,101,400)	(4,927,000)
人件費支出	11,866,000	8,740,000	3,126,000
賃金支出	1,000,000	1,832,000	-832,000
会議費支出	1,015,000	835,000	180,000
旅費交通費支出	3,130,000	2,430,000	700,000
通信運搬費支出	1,300,000	1,000,000	300,000
什器備品費支出	50,000	50,000	0
消耗品費支出	1,200,000	1,200,000	0
印刷製本費支出	1,500,000	1,500,000	0
光熱水費支出	540,000	550,000	-10,000
渉外費支出	500,000	500,000	0
賃借料支出	8,135,000	6,852,000	1,283,000
諸謝金支出	300,000	250,000	50,000
負担金支出	870,000	870,000	0
登録料支出	1,300,000	1,200,000	100,000
手数料支出	70,000	60,000	10,000
雑支出	70,000	100,000	-30,000
租税公課支出	70,000	70,000	0
保険料支出	12,400	12,400	0
修繕費支出	100,000	50,000	50,000
繰入金支出	2,000	2,000	0
事業活動支出計	106,287,400	112,109,400	-5,822,000
〔事業活動収支差額〕	1,470,600	-2,907,400	4,378,000
II 投資活動収支の部			
1. 投資活動収入	0	0	0
投資活動収入計	0	0	0
2. 投資活動支出			
特定資産取得支出	114,276	104,065	10,211
固定資産取得支出金	1,000	1,000	0
投資活動支出計	115,276	105,065	10,211
〔投資活動収支差額〕	-115,276	-105,065	
III 予備費支出	4,187,789	5,234,625	-1,046,836
当期収支差額	-2,832,465	-8,247,090	5,414,625
前期繰越収支差額	2,832,465	11,079,555	-8,247,090
次期繰越収支差額	0	2,832,465	-2,832,465

平成22年度事業積立金特別会計収支予算書

平成22年4月1日から平成23年3月31日まで

(単位:円)

科 目	予 算 額	前年度予算額	増 減
I 事業活動収支の部			
1. 事業活動収入			
雑 収 入			
受取利息収入	13,000	13,000	0
繰入金収入			
一般会計繰入金収入	1,000	1,000	0
事業活動収入計	14,000	14,000	0
2. 事業活動支出			
繰入金支出			
一般会計繰入金支出	1,000,000	5,800,000	-4,800,000
事業活動支出計	1,000,000	5,800,000	-4,800,000
〔事業活動収支差額〕	-986,000	-5,786,000	4,800,000
II 予備費支出	0	0	0
当期収支差額	-986,000	-5,786,000	4,800,000
前期繰越収支差額	20,012,545	27,854,788	-7,842,243
次期繰越収支差額	19,026,545	22,068,788	-3,042,243

平成22年度財政調整積立金特別会計収支予算書

平成22年4月1日から平成23年3月31日まで

(単位:円)

科 目	予 算 額	前年度予算額	増 減
I 事業活動収支の部			
1. 事業活動収入			
雑 収 入			
受取利息収入	13,000	13,000	0
繰入金収入			
一般会計繰入金収入	1,000	1,000	0
事業活動収入計	14,000	14,000	0
2. 事業活動支出			
管理費支出			
雑 支 出	0	1,000	-1,000
繰入金支出			
一般会計繰入金支出	1,000	1,000	0
事業活動支出計	1,000	2,000	-1,000
〔事業活動収支差額〕	13,000	12,000	1,000
II 予備費支出	0	0	0
当期収支差額	13,000	12,000	1,000
前期繰越収支差額	29,187,249	29,106,039	81,210
次期繰越収支差額	29,200,249	29,118,039	82,210

笠井 淳 (法友陸上クラブ) さん理事に

宮岡理事逝去にともない役員選出規程により、次点者の笠井淳氏が繰り上げ当選、4月20日から理事となりました。

総務部 部長 有澤 政雄

総務部の21年度の反省と22年度の活動
陸上競技を愛する方々により良いサービスを

平成21年度の活動は、大きく分けると以下の6点に集約されました。

1. 総会の準備と開催

* 第1回定時総会 (21年6月開催)

* 第2回定時総会 (22年2月開催)

会場を借用させていただいた、立正大学に感謝します。

2. 第72回東京選手権 (21年5月2・3日開催)

* 栄章の贈与式、S級昇格審判員の伝達式を
挙行

* 大会庶務係の業務を担当

3. 各種名簿の整理と作成

* 加入団体名簿

* 役員名簿

4. 審判講習会、大会での物品販売

5. 部会の開催

6. 22年度陸連登録受付業務 (平成22年3月15日から)

一年間の活動で存在感を高めてくれました会員の皆さんに感謝します。ありがとうございます。

平成22年度の活動は、会員の皆さんを始めとして、陸上を愛してくれる都民の方々々に喜ばれるよう活動を進めたいと思います。主な活動項目は21年同様になりますが、部会の中で議論をしながら最善を尽くしていきたい。

22年度の活動項目

1. 総会の準備と開催

第2回は、役員改選と重なるために事前の準備に慎重を期したい。

2. 第73回東京選手権 (22年5月1・2日開催)

3. 加入団体名簿の整理と作成

4. 審判講習会、大会での物品販売

5. 部会の開催

6. 23年度陸連登録受付業務

会計部

平成二十二年度会計部方針

部長 野沢 恒雄

1. 年間予算の適正なる支出と正確な経理処理

2. 必要なる財源の確保

3. 競技会における収支状況の検証

4. 新・新公益会計基準による経理処理への移行

5. 新公益法人認可申請に向け経理処理の検証

競技部

部長 川島 康男

会員の皆様方におかれましては、日頃から競技会運営につきまして、ご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

昨年度は理事役員改選で新しい組織でスタートして一年が経ちました。競技部の中でも、内容の見直しや部員の仕事分担など新しい形でスタートを切り、競技会の見直しも検討してまいりました。この一年間は競技会や大会の準備で追われる形でしたが、その中でも毎年のように国立競技場で開催される、「東京アスレチックカーニバル」は衰退して行く一方であると言う話が毎年出ており、この競技会は何とかなければならないと言うことで、約半年の間、活性化を目指して各方面の会員の皆様からご意見を頂き、要項の見直しなどを行ない、競技会開催に踏み切りました。ところが予想外の申込みが

記録情報部

部長 石上 敬久

記録情報部21年度の動きと22年度の抱負

あり、一日開催の予定であったのが、ナイターを使わないと競技が消化できず、それでも対応できないので二週に分けて、二日開催となってしまいました。会員の皆様、競技役員の皆様方には、大変ご迷惑をお掛けしました。しかし、多少工夫することにより、競技会に多くの選手が申込んでくれると言う事は、実感させて頂きました。今年は昨年の経験を生かして、もう一歩前進して行きたいと考えております。それは、都内では多種多様のスポーツと言われるものが多くありますが、その中でも陸上競技に目を向けてくれるような方策を考えていく必要があると思います。一般の方々の子供を連れて競技場に足を運び、多くの方々に関心を持ってもらい、注目されるような競技会を展開する事が大事だと思います。東京国体が味の素スタジアムでの開催が予定されていますがスタンドは空席だらけではと思うと、それだけでは何とかならな思っております。その中で今年「東京ナイター陸上」を国立競技場で開催致します。夢の、憧れの国立競技場に一人でも多くのアスリート達が競技をし、多くの人たちがスタンドで観戦して頂くことを願っております。この様な事により、東京都内の陸上界の活性化に繋がると信じております。今年度も新しい競技会にチャレンジ精神で向かっていきますので、ご理解とご協力ご鞭撻の程、よろしくお願い申し上げます。

記録情報部

部長 石上 敬久

記録情報部長に就任しあつという間に1年が経過した。まったく白紙の状態で記録情報を担当し、幸いにも関根副部長以下部員の大半が経験者であり、従来の路線を引き継ぎ技術的な面に関しては、部員の方々に全てお任せし、涉外、

やりやすい環境作りが私の仕事と認識し、行動してきました。

従来、記録員、記録情報員と競技役員上では分かれていましたが、昨年の総会におきまして、IT委員会を含めて、記録情報部に統一が認められ、競技会に於ける仕事の重要性は一段と増しました。此れまでの記録の集計を中心にした、バックアップ的な仕事から、攻めの記録情報部への変身が要求され、大会の申込、入力、番組、プログラム作成等、事前の準備から、大会でのトラック・フィールドの記録の集計、迅速な発表、表彰状・記録証の作成まで、重要な分野を担当する事になった。この1年間、部員の努力、協力に依り、120%の仕事が出来たと評価したい。22年度の課題としては

・競技部との連携は非常に大切ではあるが、競技部の分野まで入り込んでいないのではないか？と懸念している。今後は、競技部を含め、各関係部門との密接なコミュニケーションを通して、役割分担を明確にし、組織的な仕事を追及したい。

・従来の記録・番組と情報部との垣根の撤廃も早急にやらねば成らない。

・今後は、大会会場、研修会等を通して、各部門の審判員の皆様に進んでご協力頂ける、開かれた「記録情報部」にして行きたいと思えますので、ご意見、ご注文をどしどしお聞かせ頂きたい。

最後に、東京国体を目標に、より充実した、全国のお手本に成る様な、記録情報部体制作りを目指したい。

審判部

「今年の審判部」

◎審判講習会

部長 貫井 勝之

審判講習会も終わりましたが、受講者数はほぼ例年並みとなりました。この数字から言いますと来年の東京マラソンの編成が今年同様になり厳しいものになります。今年はめでたく抽選に当たって選手として参加した審判員や、また体調不良等により東京マラソンの審判員を辞退した方がかなりいました。1100名以上の編成をしなければいけませんので次回も編成にかなり苦慮することが予想されます。

一方、新規取得希望者は96名と例年よりも約20名ほど多く受講しました。受講者の年齢も若く、将来に向けて大変うれいことです。4月から始まる実技研修を8回受け、今年中に資格を取ってほしいと思います。

◎今年目標

さて、今年の審判部の目標は「国体を見据えて、よりいっそうの審判技能の向上に努める」3年後に国体が行われますが、国体に向けてよりいっそう審判技能の向上に努め、国体の時には素晴らしい競技運営を全国の皆さんに披露したいと思えます。その一環として各部署別の研修を充実させたいと思います。

その手始めにスターターの研修を日本学連の学生諸君と行い、「一発失格」に向けての研修をいたします。また、「競歩競技」の審判技能の向上を目的に、研修会を開く準備を現在進めています。その他の部署においても順次審判部員を中心として研修会を開きたいと考えています。

◎若手審判員の登用

国体に向けての準備として、若手審判員の登用も今年は重視いたします。審判長を始めとして、各主任には積極的に若手審判員を登用し、経験を積んでいただきます。

今年も学連の競技会等の審判編成も含め数多

くの競技会の編成をしなければなりません。それだけではなく、審判員の技能向上に審判部員が一丸となって頑張ります。皆様のご協力をお願いいたします。

強化部

強化部年間計画・活動方針

部長 馬場 孝

平成21年度は、国民体育大会、駅伝競走大会ともに大きな成果をあげることはできなかった。

この反省を受け、強化部の強化方針を抜本的に見直し、3年後の東京国体を見据えて、強化の方法を抜本的に見直して選手強化をすることとした。一流選手の確保などには大きな課題があるものの、大串副会長をはじめとして強化部が中心となり、真に「強い東京」に成長するよう次のような目標・計画を立てた。

1. 年度目標

ア・ゆめ半島千葉国体

天皇杯・皇后杯 第3位

イ・東日本女子駅伝 優勝

・都道府県女子駅伝 皇后杯8位入賞

・都道府県男子駅伝 天皇杯8位入賞

2. 年間活動計画

ア・ゆめ半島千葉国体にむけて

競技種目の変更に伴い、記録上位者と力ある競技者を切磋琢磨させて選考し、昨年を大きく上回る目標とした。

○国体候補選手発掘

○国体選考会(5月東京選手権・7月東京ナイター・8月国体最終選考会)

○国体強化練習(8~9月)

○国体強化合宿(第1次8月・第2次9月)

イ・駅伝再建計画(強化プロジェクト)
年度がスタートした段階で、男女の監督を決め、再建計画を立案して、各階層の選手を競わ

せ選考し、駅伝大会に臨む。

○駅伝強化練習会(通年)

○駅伝強化合宿(8月・12月)
ウ・東京国体強化プロジェクト

すでに去る3月14日に日大グラウンドに、東京都の選抜された中・高・一般の競技者と指導者を集め、結団式と第1回の練習会を実施した。国体種目の記録上位者のみを集めて強化していくプランである。

○強化練習会(5月・3月)

○強化合宿(11月・1月)

○ブロック別強化練習会(通年)

普及部

部長 田中 右一

普及部21年度報告および22年度計画案

平成21年度普及部の主な活動は全国小学生陸上交流大会(横浜)にて、3年ぶりに男子2名女子1チームが入賞。特に80mHで優勝した(11秒80大会新)小野崎圭君の活躍が目立ちました。(優勝は5年ぶり)なお小野崎圭君の力走は2010年陸連のカレンダーに掲載されています。次に中体連の冬季強化練習会と合同にて強化練習会を12月〜3月の間に8回実施し、将来性のある選手44名を選抜して、3月26日〜28日(甲府)にて中体連の選抜合宿と合同合宿を実施しました。また「日本のトップ選手と一緒に走ろう!」を合い言葉に12月〜3月各月1回・東京都小学生陸上体験教室を開催しました。記念写真撮影、選手サイン会、デモンストラーション等大変好評でした。参加者は4回合計460名に達し陸上体験教室は回を増す毎にリピーターが増え、実施内容が良かったと自負している次第です。2月20日に開催した陸上体験教室(協力:日野市陸協)は地元ケーブルテレビが取材、放映して貰い普及活動の一翼を担ってもらいま

した。体験教室の中で、ミニ記録会を実施することで、地域の陸上競技未経験者のタレント発掘もすることができ、強化練習会、合宿へ参加し、中学で本格的に競技に取り組む選手も出てきました。この1年間の主な活動を振り返りますと、全国小学生陸上交流大会へ向けての強化練習会や大会での役割分担の細分化等が功を奏して良い結果が出た事や、強化部との連携が密になり冬季強化練習会や選抜合宿への合流等大変良い方向へ踏み出した年と言えるでしょう。また八幡賢司選手、大前祐介選手、下平芳弘選手などをはじめとした世界大会やアジア大会などへ出場した一流選手との体験教室も好評だった事や部員が労を惜しまず一丸となって活動した事を鑑みると自己採点は85点で合格だったと思います。

平成22年度普及部の方針

1. 強化部との連携をより密にして国体選手を送り出す
 2. 優れた指導者(普及部部員)集団にする
 3. 陸上競技の楽しさを指導する事
 4. マスメディアとのタイアップ
 5. 小学生モチベーションのUPを計る
 6. 陸上競技の底辺拡大(体験教室等)と指導者の育成
- 平成22年度普及部の活動計画**
1. 全国小学生陸上交流大会をメインに各種大会へのサポート及び指導
 2. 全国大会への選手選考・強化練習会
 3. 中体連の冬季強化練習会と合同強化練習会の実施
 4. 中体連の選抜合宿と合同合宿の実施
 5. 小学生陸上体験教室の開催

6. 陸連主催の全国小学生陸上競技指導者中央研修会や競技者育成クリニックへの派遣
7. 小学生クラブの把握
8. その他の研修会の企画等

競技場管理部

部長 山口 賢司

平成二十一年度の活動状況及び平成二十二年活動計画

昨年度は、六回の部会開催を通し、東京陸協管轄下公認陸上競技施設・器具の状況把握、公認長距離走路の状況把握、新B級公認審判員研修指導、グランドガイドの発行について確認を行った。

昨年度中に公認が切れた、十二の競技場と長距離走路三コースについては無事検定を終え継続が承認された。これらはもとよりその他の競技場・走路についても担当を決め、状況把握に努めた結果として、2010年版グランド&コースガイドが完成した。今回は長距離走路コース図も加え、内容の充実を図った。

平成二十二年度の活動計画の第一番目としては昨年度同様、東京陸協管轄下公認陸上競技施設・器具及び長距離走路の状況把握があげられる。

第二番目に、新B級公認審判員研修指導の充実はもとより、2010規則改正に伴う「第1種・第2種公認陸上競技場の基本仕様」と「公認陸上競技場及び長距離走路ならびに競歩路規定」について、全審判員への周知徹底を審判部と協力して行うこと。

もうひとつの柱として、千葉国体を視察することにより、施設設備の有効な利用方法について研究し、三年後に迫った東京国体の円滑な競技運営につなげることをあげたい。いずれにしても、陸上競技のルールの根本で

ある競技場及び走路をしっかりと把握し、東京国体の成功はもちろんのこと、陸上競技の発展のためにしっかりとした部の活動を進めていきたい。

追伸

昨年度の評価については、競技場管理部の活動全体は80点。部長個人の抱負に関する評価は70点です。(山口賢司)

※平成二十二年度に公認が切れる競技場及び長距離走路

- 多摩市立(陸)・一橋大学(陸)・町田市立(陸)・東京女子体育大学(陸)・日本女子体育大学(陸)の各競技場
- 伊豆大島(ハーフ)・青梅(30km)・北第一(ハーフ)・江東シーサイド(ハーフ)の各走路

広報部

部長 井口 輝男

広報活動は喜ばれたか?

広報部長を拝命して2年目に入りました。

私は、本紙の初心表明で「喜ばれる広報活動」と題して次のスローガンを掲げました。

「広報誌の発行回数を減らし、配布部数も代表委員数+希望数とする。ホームページの内容をリアルタイム化し、広報誌のデメリットを大きくカバーする。経費節減に繋げる。」

これを実現するために、次のように業務分担を決め、早速仕事を始めました。

- 総務班 高祖班長 森中
- 経理班 森中班長 根尾
- 取材班 森中班長 大竹
- 編集班 大内班長 久保岡 福満(挿絵)
- 井出(校正)
- アドバイザー 石川(ホームページ)
- 協力 関根、マルチプレス

田中専務が最も期待した経費節減に繋がる、

最も効率的な業務執行を次の通り決めました。
①委員会は10回開催。国体、駅伝等には原則1人ずつ派遣
②会報は2〜3回(1回2,000部)発行
③ホームページは09年9月から本格的掲載することとし、会報は、実際には8月17日に第91号を、1月21日に第92号を発行致しました。

これらに対応する経費は、野澤会計理事に頂いた広報部予算額3,262,000円のうち、旅費交通費470,000円を195,640円に、印刷製本費2,100,000円を816,900円にそれぞれ抑える一方、諸謝金(ホームページが主)400,000円を677,500円に増額する等の結果、1,468,000円の予算節減を実現することが出来ました。

審判講習会

2009年度審判講習会は6会場で実施され、総受講者数は1435名(既得者合計1339名、新規取得者合計96名)。

講師氏名

- 貫井 勝之 村田 延雄 曾根 弘道
- 折茂 晃 潮田 和男 古澤 幸男
- 鈴木 一弘 黒澤 達郎 池田 演之
- 鍵水 正昭 田中 利昭 福島 信久

各会場の受講者数

- 3月6日(土)立川(昭和第一学園) 既得者数 253名 新規取得者数 17名 計270名
- 3月7日(日)品川(立正大) 既得者数 355名 新規取得者数 28名 計383名
- 3月13日(土)武蔵野(武蔵野体育館) 既得者数 249名 新規取得者数 22名 計271名
- 3月20日(土)板橋(グリーンホール)

レインコート販売の件

2010年2月16日開催された、平成21年度第2回総会でレインコートについて説明がありました。「ミズノ」より約700着のレインコートが入荷しました。

今までは、各登録団体経由で販売していましたが、個人でも購入出来るようになりました。左記大会会場で販売を始めるので是非購入し、来る梅雨シーズンに備えてください。

特に新規審判取得者は、是非ご検討ください。価格は、上下1組で11,000円です。

- 5月22日(土)・23日(日) 夢の島競技場 第26回東京リレーカーニバル
- 6月6日(日) 夢の島競技場 第4回東京都小学生クラブ対抗陸上競技大会
- 7月4日(日) 大井競技場 第26回全国小学生陸上競技交流会
- 7月10日(土)・11日(日) 大井競技場 東京都高等学校選抜大会
- 7月10日(土)・11日(日) 上柚木競技場 東京都中学校総合体育大会
- 7月18日(日) 国立競技場 第1回東京ナイター陸上
- 8月21日(土)・22日(日) 夢の島競技場 第65回国民体育大会東京都代表選手選考会
- 8月29日(日) 大井競技場 都民生涯スポーツ大会

大会記録報告

第63回都民体育大会駅伝競走大会

期 日：平成22年3月14日(日)
会場：荒川河川敷特設コース
(1区間約5km) 計6区間

今年は23チームがエントリーしましたが、三鷹市が棄権し総勢22チームで競い、足立区が1時間34分31の素晴らしい記録で優勝しました。
6区間中4人までもが15分台の力走を見せ、2位との差は48秒でした。
3区で区間最高タイム15分3秒の好走を見せ、2位に1分20秒の大差をつけて独走していた世田谷区は、5区で順位を落としたもののそのままゴールし2位を確保。
「来年は何としてもリベンジする」と監督さんは意気込みを見せていました。
いずれにしてもここ1、2年レベルが飛躍的にアップし、とても市民ランナーの領域ではなくなり、来年は6区間全員が15分台を出さなければ優勝出来なくなりそうな雰囲気です。
今後ますます期待の出来る素晴らしい大会になりました。

Table with 3 columns: Rank (21-1), Region Name (豊地区名, 足立区, 世田谷区, 江東区, 八王子市, 板橋区, 府中市, 江戸川区, 大田区, 練馬区, 荒川区, 羽村市, 台東区, 杉並区, 調布市, 渋谷区, 中野区, 目黒区, 墨田区, 千代田区, 東村山市, 中央区, 足立区オープン, 三鷹市), Record (1時間34分31秒, 1時間35分19秒, 1時間36分14秒, 1時間36分42秒, 1時間38分12秒, 1時間38分16秒, 1時間38分39秒, 1時間38分43秒, 1時間39分50秒, 1時間40分57秒, 1時間40分59秒, 1時間41分25秒, 1時間41分36秒, 1時間41分38秒, 1時間42分09秒, 1時間42分28秒, 1時間43分39秒, 1時間44分39秒, 1時間46分42秒, 1時間46分55秒, 1時間50分11秒, 1時間44分07秒)

記録

棄権

Table with 3 columns: Year (2010, 2009, 2008, 2007, 2006), Return (63回, 62回, 61回, 60回, 59回), Record (1時間34分31秒, 1時間35分12秒, 1時間39分25秒, 1時間41分17秒, 1時間43分07秒)

過去5年の優勝タイムは左記の通り
(東京都体育協会業務部中村さんのご協力を得ました。)



大会記録報告

皇后盃第28回全国都道府県対抗女子駅伝競走大会

18位	2時間20分03秒
1区	村岡 温子 19分42秒
2区	藤本 知佐 13分13秒
3区	関根 花観 9分36秒
4区	阿部ゆかり 13分32秒
5区	中道 早紀 13分41秒
6区	須藤 直美 13分37秒
7区	大槻みちる 13分24秒
8区	有蘭 早優 10分40秒
9区	垣見 優佳 32分38秒

大会当日は晴天で絶好のレース日和で行われた。

東京チームは1・2区で上位の流れに乗ってレースを進めていくことを最大の目的にしてスタートを切った。1区の村岡温子(資生堂)は21位ではあったが、記録的には入賞ラインの8位と15秒差と絶好の位置につけた。続く2区の藤本知佐(アコム)が巻き返しをはかったが力及ばず27位に後退。しかし3区の関根花観(金井中)が区間4位の力走を見せて6人抜きの21位に浮上し、入賞ラインの8位まで20秒差と射程圏内で4区にタスキを渡した。その後8区が終わった時点で24位で最終区の垣見優佳(第一生命)にタスキを渡した。垣見優佳は実業団の力をしっかり発揮して区間10位という力走で見事に6人抜きを果たし、18位でゴールした。順位は昨年の24位を上回ることができたが、目標の8位入賞を果たす事ができなかったのは残念であった。しかし中学生区間の3区で区間4

位と将来性ある選手が出て来たことは明るい材料であり、来年度の駅伝チーム編成に大きなプラスになると考えられる。来年こそは8位入賞をし、近い将来にトップを狙えるようなチームづくりが出来るようにこれからの1年間さらに頑張っていきたい。



天皇盃第15回全国都道府県対抗男子駅伝競走大会

20位	2時間23分15秒
1区	加賀田剛輝 21分10秒
2区	柳川 和史 9分31秒
3区	太田 崇 24分38秒
4区	長崎 竜也 15分04秒
5区	相場 祐人 25分34秒
6区	西谷 泰介 9分07秒
7区	山田 紘之 38分11秒

1月24日(日)広島市中区の平和記念公園を発着点とする7区間48・0キロのコースで47都道府県が競った。兵庫が2時間20分2秒で3度目の優勝をし、今年から授与される天皇盃を手にした。東京は2時間23分15秒で20位、5区の太田崇(コニカミノルタ)が8人抜きと7区山田紘之(コニカミノルタ)が11人抜きをしたが時すでに遅く。天候もよく沿道の東京都出身者の会「東京都人会」会長安達勇氏をはじめ、桃太郎旗での応援は、選手の励みであったと思う。試合後の酒井勝充監督の言葉は厳しいもので、明日から来年の大会に向けて、中学生、高校生の強化が必要であると。第16回大会が楽しみです。



社団法人東京陸上競技協会顧問

梶原 玲先生を偲んで



梶原 玲先生が、2010年2月2日16時3分急性心筋梗塞のためご逝去されました。83歳でした。

先生は、鳥取県出身、日本体育大学・日本大学を卒業され、筑波大学に内地留学後、昭和25年に都立西高等学校に教諭として36年間勤務されました。

体育に関する著書も多く、旧文部省の教科書検定委員にも選ばれました。その後、平成2年に拓殖大学教授・陸上競技部長として大学教育にも力を尽くされました。

昭和26年より東京陸上競技協会理事として、総務・競技・審判等各部長・会計監査・顧問として長年にわたり東京陸協の普及発展のため尽力され、全国高体連陸上競技部常任委員・副部長、(財)日本陸上競技連盟理事・評議員・競技運営副本部長・審判副委員長・競技委員長等の役職を歴任、全国を駆け巡り、陸上競技の運営指導に尽くされ、日本陸上競技界の発展に尽力、その功績が高く評価され、平沼記念章(昭和50年)・秩父宮章(昭和53年)・有功章(昭和62年)を受章されました。

平成2年より拓殖大学陸上競技部長として、20年ぶりに箱根駅伝競走大会予選会を突破し、本大会に出場、大学から高い評価を受けられました。

陸上競技に対する深い見識を持たれ、指導力と熱意は他の先生方から信頼され、その実行力は抜群でした。非常に穏健で、理事の良

き相談相手となり、快く対応され、何事にも真剣に取り組まれ、問題解決にも努力を頂きました。
先生のご冥福を心よりお祈り申し上げます。

副会長 内田 勇

梶原玲先生は、東京陸協の会報飛翔、一面「ダッシュ」を永いこと投稿して下さいました。陸上競技の歴史、解説そして昔の事柄や未来図など、単刀直入に書いて下さり本当に有難うございました。広報部一同感謝すると共に、先生のご冥福をお祈り申し上げます。



宮岡芳久 理事亡くなる

平成22年4月10日(土)未明、宮岡芳久理事が天国に旅立ってしまいました。

1年前に体調を崩され、現場復帰に向けて治療に専念されていましたが、その努力の甲斐もなく67歳の人生の終止符を迎えられました。

日本陸連の評議員、東京陸協の理事、昭島陸協の理事長と多くの役職を持ち、多忙な中で後輩を指導し、また、投てきの光波測定員として技術指導をするなど陸上競技をこよなく愛していました。

本年10月にはその功績が認められ、秩父宮章の受章が決まりました。ただに、悔やまれてなりません。

心よりご冥福をお祈り申し上げます。

平成22年度賛助会員一覧
株式会社マルチブレス(平成21年度)

- 花園 澄明(練馬区)
- 増岡 秀一
- 堀口 利夫(東京国税局)
- 北島 正市(国立市)
- 山崎 善高(東京陸協)
- 小松 邦江(東京茗友クラブ)
- 井上 有美(セントポールクラブ)
- 伊藤 陽三(明大紫交会)
- 佐藤三千雄(練馬アスレチッククラブ)
- 市川 力男(武蔵野市)
- 山崎壽美子(板橋区)
- 中大レディースクラブ
- 貫井 勝之(板橋区)
- 井上 敦夫(東京消防庁)
- 篠原 忠造(小平市)
- 長岡 俊男(狛江市)
- 星野 敦志(東京A.C.)
- 酒井 義典(多摩川陸上クラブ)
- 高嶋 皖(多摩川陸上クラブ)
- 飯野 秋治(NSVA)
- 岡村 定夫(豊島区)
- 大嶽 秀行(葛飾区)
- 渡辺 恒久
- 澤田 五男(農林走友会)
- 滑 年雄(ビック・ストーンRC)
- 千葉 一雄(南蛮連合RC)
- 澁谷 光二(農大常磐松クラブ)
- チレメダRC
- 今治 英而(八王子市)
- 折野 栄子(杉並区)
- 若林 秀雄(豊島区)
- 浅見 邦一(昭島市)
- 鈴木 存(八王子A.C.)
- 田所 秀雄
- 小野崎 徹
- 斎藤 紀彦
- 桑原 則夫
- 藤橋多一郎(三鷹市)
- 有澤 政雄(横河電機同好会)
- 香取 孝之
- 小黒 栄信(港区)
- 富田 雄耕(東京陸協)
- 松田 寛次(八王子市)
- 板倉 武(小平市)
- 加藤 健二(日野市)
- 村田 延雄(警視庁クラブ)
- 長田 孝(練馬A.C.)
- 堀江 静男(世田谷区)
- 吉川 輝代
- 鈴木 奉忠(練馬区)
- 三浦 修(JR東日本東京)
- 大倉 政保(大田区)
- 小野瀬正博(渋谷区)
- 石塚 功(東京消防庁)
- 東京消防庁
- 柳沢 忠俊(JR東日本東京)
- 前田 芳男(千代田区)
- 瀬戸 和美(JR東日本東京)
- 井筒 千秋(千代田区)
- 山口 一男(JR東日本東京)
- 齋藤 孝行(品川区)
- 石郷岡範昭(東京陸協)
- 菊川喜久男(杉並A.C.)
- 岡村 武彦(日野市)
- 星野 正行(狛江市)
- 窪塚 哲朗(JR東日本東京)
- 白林 晴江(武蔵野市)
- 石澤 君子(杉並A.C.)
- 櫻井 助治(東村山市)
- 三橋 敏武(文京区)
- 豊島豊美子(板橋区)
- 保谷 準(西東京市)
- 石井キヨ子(渋谷区)
- 渡邊 實(M・アカデミー)
- 荒川 寛(有楽陸友会)
- 下田 喜一(武蔵村山市)
- 千葉 三郎(豊島区)
- 細田 章(小金井市)
- 浅野 光男(三鷹市)
- 内田 勇(西東京市)
- 荒川 友博(東京陸協)
- 茨城 啓一
- 黒滝 直昭
- 染谷 秀雄(西東京市)
- 江澤 勝正
- 平沼 晃城(月まで走ろう会)
- 野崎 忠信(東学大ARC)
- 根岸 浩美(東京陸協)
- 青地 清助(江東区)
- 横山 弘(江東区)
- 鈴木喜久男(練馬A.C.)
- 樋口 幸好(東村山市)
- 来栖 章(東学大ARC)
- 藤井 賜子(豊島区)
- 井出 力男(警視庁クラブ)
- 安藤 弘尚(墨田区)
- 小澤 倉吉(青梅市)
- 千葉 洋助(あきる野市)
- 峰尾 公次(八王子市)
- 中田 安彦
- 右近 祥子
- 齋藤 文子(渋谷区)
- 田中 右一(八王子市)
- 岡本 信夫(トリアクラブ)
- 勝 愛子(泉ジョギングクラブ)
- 株式会社SUSERRI
- 樋口 京子(国分寺市)
- 渡邊 敏子(中大レディース)
- 伊藤 昭夫(日野市)
- 椎津 民雄(杉並A.C.)
- 田中 克美(調布市)
- 船越 武明(調布市)
- 吉本 延男(千代田陸上クラブ)
- 豊泉 和男(板橋区)

訃報

次の方がご逝去されました。心よりおくやみ申し上げ、ご冥福をお祈り申し上げます。

2月8日 野宮孝志
(三鷹市陸協)

小掛照二元東京陸協会
会長は5月9日午後9時43分都内順大病院で肝不全のため死去されました。詳細は次号にてお知らせします。

平成22年3月29日現在

編集後記

平成21年度の各専門部への広報部よりの質問

①平成21年度の反省

②平成22年度の業務計画

に対し、掲載された記事内容は、各部各様の記述でした。

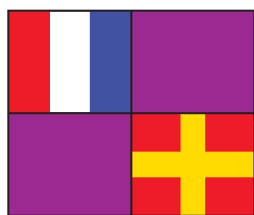
主旨に対応しているもの、主旨に合わないものもありました。

読者の皆様には、如何に思われますかご意見をお寄せ下さい。

又、総会において、補正予算が赤字でも承認されましたが、その理由についての説明に納得し難い点が見られます。

質問疑問は東京陸協事務局までお寄せ下さい。

編集部一同



飛翔

No.94 東京陸協会報

2010(平成22)年8月5日発行

発行

(社)東京陸上競技協会
〒160-0021
新宿区歌舞伎町1-28-3
武井ビル4階
電話 03-3203-6123
FAX 03-5292-0196
HP <http://www.toriku.or.jp>

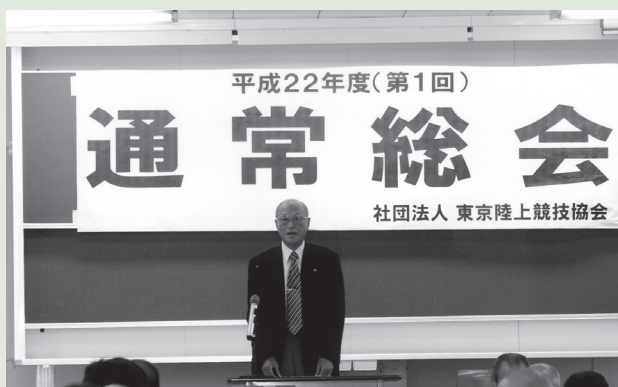
平成22年度第1回通常総会開催 ＜平成21年度事業報告・決算等承認さる＞

新公益法人化に向けては、都体協で開催する講習会に出席し、情報の収集、皆さんに向けた検討資料の

7月には、石原新会長が誕生し、会長交替がありましたが、東京国体準備、強化事業は一層拍車がかかりました。

「平成21年度は、4月から大串会長のもと、東京国体強化に向けてスタートしました。7月には、石原新会長が誕生し、会長交替がありましたが、東京国体準備、強化事業は一層拍車がかかりました。」

本年度第1回社団法人東京陸上競技協会通常総会は、平成22年6月26日(土)午後2時より、東京都品川区大崎4-2-16 立正大学431号教室において開催されました。会員(登録代表者)数375名中、261名(委任163名、出席98名)の出席をもって総会は成立し、議長団には佐藤三千雄氏(練馬ACC)と井上克巳氏(立川市)が選出され、議事はスムーズに進められました。



準備をして参りました。このように大きな事業運営を進めていくにあたって、平成21年度は、地域陸協代表者連絡会、専門部長、副部長連絡会、競技運営委員会を新規におこし、各事業(大会)の目的、趣旨をより明確にし、より良い機関運営を図ってまいりました。

主催、共催事業としては、第72回東京選手権大会(1517名参加)、第25回東京リレーカーニバル(2154名参加)、第64回国体予選(891名参加)、第21回東京ジュニア(3437名参加)、第4回東京キッズ(1119名参加)、第49回東京女子(513名参加)、第4回東京アスレチックカーニバル(2162名参加)等、多くの参加者を集めることができました。また、強化合宿、小学生陸上競技教室など、小学生への陸上競技に関心を高める努力もしてまいりました。しかし、残念ながら、新潟国体での東京選手団の成績は良い結果を残すことができず、期待にこたえることができなませんでした。今後、更なる努力を続けていく必要があります。

道路競技においては、人気の高い東京マラソンが年々発展している中で、競技運営においても東京陸協の存在の高さを実証してまいりました。東京マラソン(35000名)、青梅マラソン(16772名)にも多くの参加があり、市民マラソンの関心の高さをみる事ができました。残念ながら前夜からの暴風雨のため第13回東京・荒川市民マラソンは中止となりました。正月の風物詩とな

りました元旦競歩も、全国から186名の参加者が集まり大会を盛り上げていただきました。1月に開催された都道府県対抗男子・女子駅伝においては、ふるさと制度の壁にチーム成績は上位に入ることができま

せんでした。東京陸協としても、21年度の反省を踏まえ、東京都民のためにより良い大会を目指してがんばっていききたいと思います。

特に2013年の東京国体においては、総合優勝は絶対であり、大会運営、競技運営を問わず、あらゆる面で全国一を目指しています。そのためにも今まで以上に会員の皆様の協力をお願いします。

〈平成21年度決算承認する〉

2 平成21年度収支決算が、野沢会計部長から提案され、承認されました。その概要は別表のとおり。

〈一般会計決算総括〉

3 世界的な金融市場の混乱は、国内外の実体経済にも大きな影響を及ぼし、日本経済の停滞や企業の業績低迷は深刻な状態にあります。そのような厳しい経済状況がスポーツ界全体に広がり企業の広告宣伝費、協賛金への支出等引き締めが強まり財源の確保に苦慮した年であります。

競技会においては、日本における最初の女子マラソンである東京国際女子マラソンが横浜に移り残念な年であった。反面、東京国体を目指し小学生を含むジュニア競技者を対象とした練習会、合宿等を鋭意強い東京を目指した年でもある。

平成21年度決算では、収入については、協会収入が2,910,650円、事業収入が2,880,270円、雑収入が2,086,323円の収入増となった。一方、受託収入が490,000円、補助金等収入が1,420,000円の収入減となった。その結果、当期事業活動収入額は、予算額109,202,000円に対して決算額115,158,171円となり5,956,171円の増収となった。

また、一般会計への繰入金として、事業積立金特別会計より、2013年の東京国体に向け選手強化のための諸経費として、1,000,000円と、役員用レインコートの支払い財源として4,800,000円、計5,800,000円を繰入れし事業を実施してきたところである。

支出については、管理費に3,201,631円の支出増があったが、事業費で11,771,675円の減額となった。その結果、当期事業活

動支出額は予算額112,109,400円に対して決算額は103,537,356円となり8,572,044円の支出減となった。

投資活動収支額を加え、最終決算の結果、平成21年度の当期収支差額は11,506,539円のプラス決算となり、前期からの繰越額11,079,555円を加え、平成22年度への繰越額は22,586,094円となった。

〈繰越金は〉

4 収支差額の処分について

前期繰越収支差額	66,053,349円
当期収支差額	5,834,811円
当期末収支差額	71,888,160円
次期繰越収支差額へ	71,888,160円
内訳…一般会計	22,586,094円
…事業積立金特別会計	20,071,200円
…財政調整積立金特別会計	29,230,866円

〈9新規加入団体承認する〉

5 次の9団体の加入申請が出席者全員の拍手で承認されました。

- 清新JAC (江戸川区、40人) 樂走組 (三鷹市、14人) アーベント (墨田区、5人) ランニング・フォーラム (日野市、11人) TAMAGAWA AC (町田市、14人) 日本経済広告社陸上競技部 (千代田区、10人) スポーツクラブ ルネサンス (墨田区、5人)

東京学芸大学陸上同好会 (小金井市、13人) 昭和薬科大学 (町田市、5人)

〈レインコートの購入にご協力を〉

6 ミズノ製審判員用レインコートは、現在約700着の在庫がある。1着11,000円で全審判役員に購入をお願いしたい。

〈理事の繰上げ当選について〉

7 規定により、宮岡芳久理事のご逝去に伴う後任理事として、笠井淳氏 (法友陸上クラブ) が繰上げ当選されました。任期は平成22年6月26日より、平成23年3月31日まで。

平成21年度 決算報告書

一般会計収支計算書

平成21年4月1日から平成22年3月31日まで

(単位:円)

科 目	予 算 額	決 算 額	増 減
I 事業活動収支の部			
1. 事業活動収入			
基本財産運用収入	242,000	241,928	72
協会収入	30,061,000	32,971,650	△ 2,910,650
事業収入	37,723,000	40,603,270	△ 2,880,270
受託収入	22,950,000	22,460,000	490,000
補助金等収入	12,000,000	10,580,000	1,420,000
寄付金収入	10,000	0	10,000
雑収入	415,000	2,501,323	△ 2,086,323
繰入金収入	5,801,000	5,800,000	1,000
事業活動収入計	109,202,000	115,158,171	△ 5,956,171
2. 事業活動支出			
事業費支出	84,006,000	72,234,325	11,771,675
管理費支出	28,101,400	31,303,031	△ 3,201,631
繰入金支出	2,000	0	2,000
事業活動支出計	112,109,400	103,537,356	8,572,044
〔事業活動収支差額〕	△ 2,907,400	11,620,815	△ 14,528,215
II 投資活動収支の部			
1. 投資活動収入			
投資活動収入計	0	0	0
2. 投資活動支出			
特定資産取得支出	104,065	114,276	△ 10,211
固定資産取得支出金	1,000	0	1,000
投資活動支出計	105,065	114,276	△ 9,211
〔投資活動収支差額〕	△ 105,065	△ 114,276	9,211
III 予備費支出	5,234,625	0	5,234,625
当期収支差額	△ 8,247,090	11,506,539	△ 19,753,629
前期繰越収支差額	11,079,555	11,079,555	0
次期繰越収支差額	2,832,465	22,586,094	△ 19,753,629

事業積立金特別会計収支計算書

平成21年4月1日から平成22年3月31日まで

(単位:円)

科 目	予 算 額	決 算 額	増 減
I 事業活動収支の部			
1. 事業活動収入			
雑 収 入			
受取利息収入	13,000	72,655	△ 59,655
繰入金収入			
一般会計繰入金収入	1,000	0	1,000
事業活動収入計	14,000	72,655	△ 58,655
2. 事業活動支出			
繰入金支出			
一般会計繰入金支出	5,800,000	5,800,000	0
事業活動支出計	5,800,000	5,800,000	0
〔事業活動収支差額〕	△ 5,786,000	△ 5,727,345	△ 58,655
II 予備費支出	0	0	0
当期収支差額	△ 5,786,000	△ 5,727,345	△ 58,655
前期繰越収支差額	27,854,788	25,798,545	2,056,243
次期繰越収支差額	22,068,788	20,071,200	1,997,588

財政調整積立金特別会計収支計算書

平成21年4月1日から平成22年3月31日まで

(単位:円)

科 目	予 算 額	決 算 額	増 減
I 事業活動収支の部			
1. 事業活動収入			
雑 収 入			
受取利息収入	13,000	55,617	△ 42,617
繰入金収入			0
一般会計繰入金収入	1,000	0	1,000
事業活動収入計	14,000	55,617	△ 41,617
2. 事業活動支出			
管理費支出			
雑 支 出	1,000	0	1,000
繰入金支出			
一般会計繰入金支出	1,000	0	1,000
事業活動支出計	2,000	0	2,000
〔事業活動収支差額〕	12,000	55,617	△ 43,617
II 予備費支出	0	0	0
当期収支差額	12,000	55,617	△ 43,617
前期繰越収支差額	29,106,039	29,175,249	△ 69,210
次期繰越収支差額	29,118,039	29,230,866	△ 112,827

大会記録報告

第73回東京陸上競技選手権大会

(兼65回 国民体育大会東京都代表選手選考会)

日 時：平成22年5月1日(土) 9:00～

2日(日) 9:00～

場 所：国立競技場

都立大井ふ頭中央海浜公園陸上競

技場

参加人数：519名

第73回東京陸上競技選手権大会は5月1日(土)2日(日)の両日、国立競技場で開催されました。この東京選手権は73回という歴史と伝統ある大会で、以前は日本のトップレベルの選手達が挙って出場し、権威ある大会でした。しかし、時の流れとともに出場する選手のレベルも徐々に低下して行き、スタンドのお客さんも少なくなり、参加選手も激減していく中で、毎年、

試行錯誤しながらこの大会を実施して来ました。そこで、今年には改革の第一として、スタンドにお客さんを入れる事を主眼に置きましました。選手権種目男女42種目は例年通



5000m・決勝

り、その他に高校の部・中学の部を設けてリレーを含む8種目を実施しました。当初、選手権のほかに、高校生・中学生が集まるかどうか心配でしたが、予想以上に参加者があり、参加選手は延べ1000名を超え、競技役員も250名体制を組み、スタンドにもお客さんが例年より多く、にぎやかになりました。

2日間天候にも恵まれ、選手権種目の出場の中には、日本選手権の参加標準記録を突破した選手もおりました。また、高校生の安藤圭太(都立駒場3年)選手が110mHで、14秒53の今季全国高校トップの記録をマークするなど、全国からも注目される大会となりました。平成25年東京国体に向けて、選手強化をする指導者、競技運営をする競技役員が一丸となつて東京国体の準備を進めて行きたいと考えており、東京都の中で一番権威ある、東京選手権大会をもっともっと盛り上げ、東京国体に結び付けて行きたいと思っております。(競技部長 川島康男)

男子

1000m	木原 博 (WAC)	10秒75
200m	金輪 綾吾 (日大)	21秒74
400m	馬越 興平 (NewModeAC)	47秒94
800m	石原 太地 (早大)	1分55秒66
1500m	清水 健司 (ヤクルト)	3分55秒95
5000m	板山 学 (日清食品グループ)	14分27秒18

10000m

高橋 憲昭 (エスピー食品) 30分38秒40

1100mH

川内 裕太 (国武大) 14秒08

4000mH

山崎 雅裕 (NewModeAC) 51秒27

3000mSC

篠浦 辰徳 (エスピー食品) 8分52秒10

4x1000m

東京高 小島 俊介(3) ケンブリッジ 飛鳥(2) 41秒25

榎木 雅文(2) 原 洋介(3)

4x4000m

慶應義塾大 木村 篤 大野 三津雄 3分19秒77

三浦 洋平 寺澤 知海

走高跳

元吉雄基(3) (東京高) 2m05

青木康彰 (法大工)

棒高跳

田中 宏昌 (モンテローザ) 5m00

猿山 力也 (モンテローザ)

三段跳

角山 貴之 (国士舘クラブ) 7m79

関谷 良介 (日大) 15m69

砲丸投

関谷 良介 (日大) 15m82

円盤投

高梨 雄太 (東女体大AC) 45m02

脇門 孝太郎 (国武大)

やり投

池田 龍生 (国士舘クラブ) 71m79

十種競技

女子

田中 悠士郎 (国士舘大)	69.66点
菅原 聡美 (中大)	12秒14
菅原 聡美 (中大)	25秒49
利根川 由佳 (中大)	55秒87
鈴木 翔子 (2) (白梅学園高)	2分09秒89
鈴木 翔子 (2) (白梅学園高)	4分31秒74
平田 裕美 (資生堂)	34分29秒98
山田 めぐみ (中大)	14秒25
大槻 真己子 (日体大)	63秒28
東京高	47秒72
片桐 典子 (2) 藤森 安奈 (1)	
野口裕香里 (3) 中澤まいこ (3)	
八王子高	3分57秒69
仲 涼香 (2) 佐藤万寿美 (3)	
小林 紗英 (3) 渡辺なつみ (2)	
今城 瞳 (東京高クラブ)	1m74
多久 優麗花 (日大)	3m70
走幅跳	5m53
佐野 恵 (1) (都文京高)	
三段跳	12m14
下山 友里 (早大)	

砲丸投

円盤投

ハンマー投

やり投

男子中学

3000m

4x1000m

女子中学

1000m

15000m

4x1000m

KMC陸上クラブ

男子小学招待

4x1000m

女子小学招待

4x1000m

金井 佐季巳 (国士舘大)	12m22
峯岸 真央 (3) (都東大和高校)	36m10
小嶋 美波 (日体大)	42m23
小田 恵里花 (日体クラブ)	49m06
大澤裕輝 (3) (小金井一中)	11秒76
青山 拓朗 (2) (柏葉中)	9分17秒32
本郷中A	45秒18
重松 英憲 (3) 大武 洋貴 (3)	
山口 遼大 (3) 鈴木 幹人 (3)	
吉田 実結 (3) (東綾瀬中)	12秒74
関根 花観 (3) (町田金井中)	4分38秒25
KMC陸上クラブ	49秒93
平川 花菜 (2) 安藤 沙蘭 (3)	
伊藤 美紗 (3) 古寺 夏実 (3)	
KMC陸上クラブ	54秒35
富樫 真生 (5) 加藤 剛一 (6)	
池上 祐貴 (6) 藤井 健洋 (6)	
府中AC	56秒66
島村 友実 (6) 高田 遥 (6)	

男子高校

1000m

15000m

女子高校

1000m

8000m

男子

池神

悠希 (2)

菜穂 (1)

悠希 (2)

令央 (3)

令央 (3)

令央 (3)

菜穂 (1)

悠希 (2)

喜多村知咲 (6) 高橋みのり (6)	
戎家 嵩二 (3) (都青梅総合高)	11秒24
杉江 令央 (3) (暁星高)	4分16秒08
池神 悠希 (2) (都田無高)	2分21秒87
男澤 菜穂 (1) (都文京高)	12秒85



5000m・決勝

第26回 東京リレーカーニバル開催

日 時…平成22年5月22日(土) 9:30~
23日(日) 9:45~
場 所…江東区夢の島競技場
参加人数…約1,700名

初日は、100M予選が中心であった。特に中学の男・女で104本の予選レースがあり、時間の遅れが、心配されたが、写真判定・出発・スターターのすばらしい連携により定刻どおり進行し、終了した。

天候
気温・27度 湿度40%の真夏を思わせる中のレースだった。
大会記録が、期待されたが、初日においては、でなかった。

失格!あり
今回 高校女子100Mにおいて、スターターの公平なジャッジにより、フライングを指摘し(2回目)失格となった。失格した選手は、いい教訓としてとらえてほしい。

(今後フライング1回で失格となる大会が、多くなると予測されます。その意味で今から、小さい大会でも厳しくとることが大切か)

2日目
雨天の中で、決勝レースが行われた。



都民陸上競技大会

期 日…平成22年5月5日(水)
場 所…駒沢オリンピック公園陸上競技場
大会名…第63回都民体育大会春季大会陸上競技
兼 第3回東京都小学生記録会

新緑の駒沢公園競技場に参加選手478名を集め午前10時競技が開始された。
天候晴れ、競技開始時に既に26.5度と夏を思わせる気温の中、選手達は記録に挑戦し、特に小学生達のちびっ子ランナーの真剣な走りやフィールド競技に会場から「がんばれー」の大声援が飛んでいた。
来年以降も小学生たちの競技には期待できる
ところがあります。
そして競技は定刻の15時25分からの4x100MRで無事終了した。



第1回東京投てき競技会

平成22年5月30日(日) 立川公園陸上競技場において第1回東京投てき競技会が開催された。
当日天候は曇り、気温17度(13時)と肌寒い1日であった。

小学生から一般まで102名のエントリーがあり、新たな歴史の始まりを迎え熱い戦いが繰り広げられ、盛り上がるのうちに、予定の16時を40分超過し終了した。
尚、本年11月21日(日)、同会場にて第2回大会が開催されます。
参加人数はものたりないが、今後の発展を期待する意味で各クラブの努力を期待したい。



小学生クラブ対抗大会

平成22年6月6日(日)

快晴に恵まれた江東区夢の島陸上競技場に多くの小学生が参加し、日ごろの成果を發揮した。競技開始前にはクラブのコーチに指導されアツプに汗を流していた。コーチの掛け声に機敏に反応する彼らの姿に、日々の積み重ねなくしては結果につながらない事を改めて感じた。又、コーチたちの彼らを見る真剣な目がいい記録を生み出すのを支えているのだと改めて感じた。大いに伸びていく彼らの姿と、それを支える指導者又すべての面で支えている保護者、三位一体で、エネルギーあふれる競技会であった。表彰式では、東京陸協大野理事から賞状が渡された。終了後表彰台での記念写真を家族で歓声を上げながら撮っている姿にこれからも応援ヨロシクと心の中で声をかけた。



第1回東京陸協競技会

リニューアルされて走路の輝きがました江東区夢の島競技場で第1回東京陸協競技会が4月24、25日の2日間行われた。東京陸協主催の競技会として今シーズン最初の競技会であった。ぐずついていた天気も回復し、青空の下で行われたが風がやや強く、特に1日目は寒さを感じた。

昨年までは中学生だけの競技会であったが今年は一一般の部を設けて実施した。まだ知名度が低いのか、一般の部の参加者はあまり多くなく、参加者はほとんど中学生であった。高校生は同じ日に高校総体支部予選が行われていたので参加者はいなかった。

シーズン初めの競技会であったために、記録はあまり良くなかったが、中学女子4×100m Rで武蔵野東中が50秒94の好記録をマークした。シーズン初めの50秒台は素晴らしい、今シーズンの活躍が大いに期待される。

一方、新しくB級審判員の資格取得のための実技研修会もこの競技会から始まった。今年は講習会受講生が98名で過去最多であったが、1日目36名、2日目37名が実技研修を受けた。今年に従来よりも若い人たちが多く受講し、審判技術の飲み込みも早く東京国体を3年後に控えた東京陸協としては頼もしく感じられた。

(審判部長 貫井勝之)



注目された

第1回東京ナイター陸上

盛大に開催!

第1回東京ナイター陸上が梅雨明けの発表された7月18日(日)、快晴猛暑の中、国立競技場で盛大に開催されました。この大会は、東京陸上競技協会の今年度の新しい方向性をもった競技会の一つとして競技運営委員会が中心となり、開催に向けて準備が進められて来ました。近年東京で開催されなかった、日本のトップアスリートが勢ぞろいしての競技会、またその中で全国でも例を見ない、東京都内のトップレベルの高校生達が日本代表選手と肩を並べて競技を行うという趣向を凝らし、都内の中学生・高校生の競技力の向上と、一人でも多くの陸上競技ファンが国立競技場に足を運んでもらいたいという願いで開催する運びとなりました。

中学生・高校生・一般の種目の申込みが予想以上に多く、締切り期日前に定員オーバーの為、締切りを早めるという状況でした。当日は午前9時から競技が開始され、都内の多くのアスリート達が国立競技場を満喫し、また、暑い中スタンドからの声援が途切れることなく一日中響いていました。18時30分、照明塔に明りが灯り、フィールド内の芝生が鮮やかに浮かび上がり、いよいよナイター陸上の雰囲気が高まる中、日本のトップアスリート22名、都内のトップ高校生14名が繰り広げる招待競技5種目が開始となりました。先日、香川県で行われた日



本陸上競技選手権での入賞が13名、アジア大会日本代表選手が5名、その中で最初の種目、400mに日本を代表する400mHの成迫健児選手、400mで日本代表の石塚祐輔選手が出場し、沖縄インターハイに出場する3名がチャレンジし、健闘しましたが、石塚選手が46秒台でゴール。スタンドが湧き上がった男子100mでは、日体荏原高校の石本フアール選手がトップアスリートを抑えて優勝という活躍を見せてくれました。女子では100mで和田麻希選手が向かい風ながら11秒76の好タイムでゴール。一人、高校生で出場した日本工大駒場高校の山本芽依選手も健闘。110mHの全国高校ランキング1位の都立駒場高校の安藤圭太選手も、13秒台の選手の胸を借りて健闘し、今後の大会に期待がかかるレースをしてくれました。ひとレースごとに歓声と拍手が湧き上がる近年にない盛り上がりがあった競技会でした。また、東京ナイター陸上と並行して行われた、国体選考会では成年男子の棒高跳でモンテローザの川口直哉選手が5m40の好記録で優勝し、今年の千葉国体での活躍に期待がかかります。

(競技部長 川島康男)

招待選手一覧

〔男子100m〕

- | | |
|-----------------|------------|
| 佐久間 康太 | あぶくまAC…宮城 |
| 品田 直宏 | 濃飛倉庫運輸…岐阜 |
| 菅井 洋平 | ミズノ…群馬 |
| 島山 純 | 中央大学2…神奈川 |
| 石本フアール | 日体荏原高校3…東京 |
| 岩波 秀鷹 | 日大豊山高校3…東京 |
| ケンブリッジ飛鳥 | 東京高校3…東京 |
| 根岸 紀仁 | 本郷高校3…東京 |
| 〔男子400m〕 | |
| 成迫 健児 | ミズノ…茨城 |

〔男子100mハードル〕

- | | |
|--------|------------|
| 小池 崇之 | ミズノ…兵庫 |
| 石塚 祐輔 | チームミズノ…茨城 |
| 佐々木 雄大 | チームミズノ…神奈川 |
| 浦野 晃弘 | 早稲田大学2…広島 |
| 原 洋介 | 東京高校3…東京 |
| 水谷 祐己 | 日大二高校3…東京 |
| 三武 潤 | 城西大城西1…東京 |
| 大橋 裕二 | ミズノ…埼玉 |
| 入江 幸人 | APF…広島 |
| 八幡 賢司 | モンテローザ…東京 |
| 隈元 康太 | モンテローザ…東京 |
| 川内 裕太 | 国際武道大学3…東京 |
| 大室 秀樹 | 筑波大学2…埼玉 |
| 安藤 圭太 | 都立駒場高校3…東京 |
| 白田 耕平 | 東京高校2…東京 |

〔女子100m〕

- | | |
|--------|--------------|
| 信岡 希重 | チームミズノ…京都 |
| 和田 麻希 | 濃飛倉庫運輸…岐阜 |
| 清水 めぐみ | 都留文化大学職…山梨 |
| 佐野 夢加 | 筑波大学4…千葉 |
| 岡部 奈緒 | 筑波大学2…兵庫 |
| 中野 瞳 | 東京高校3…東京 |
| 中澤 まいこ | 日本工大駒場高校2…東京 |
| 山本 芽依 | |

〔女子100mハードル〕

- | | |
|--------|------------|
| 石野 真美 | 長谷川体育施設千葉 |
| 城下 麗奈 | 横浜市陸協神奈川 |
| 木村 文子 | 横浜国立大学4…広島 |
| 川船 愛美 | 青山学院大学4…埼玉 |
| 岩本 香奈 | 東京高校2…東京 |
| 中村 茜 | 東京高校3…東京 |
| 富山 香織 | 早稲田実業高3…東京 |
| 佐藤 あゆ子 | 早稲田実業高1…東京 |

**第26回全国小学生陸上競技交流大会
東京都代表選考会**

期 日…平成22年7月4日
場…都立大井ふ頭中央海浜公園陸上競技場
参加人数…1358名

7月4日(日)都立大井ふ頭中央海浜公園陸上競技場で、第26回全国小学生陸上競技交流大会、東京都代表選考会が行われた。

競技場は、元気な小学生で一杯になった。尚、代表選手に選考された選手は、8月27日(金)28日(土)国立競技場で開催される全国小学生交流大会に出場します。



**お知らせ
24年ぶりに東京で開催**

第31回全日本マスターズ陸上競技選手権大会
東京陸上競技協会、東京都スポーツ文化事業団共催の標記大会が、全国から約20000人の中高齢者を集め、9月17日より3日間、東京・国立競技場で開催されます。この大会は、日本マスターズ陸上競技連合が毎年各地で開催しているもので、東京開催は、1982年の第3回大会及び1986年の第7回大会以来、3回目となるもので、実に24年ぶりの開催となります。
東京陸協の協力団体である東京マスターズ(陸上競技連盟)が主管で実施していることから、統括団体である東京陸協が共催となり、これの成功に向けて指導、支援することとなりました。

紹介 クラブ

日本経済広告社 陸上競技部

日本経済広告社は、日本経済新聞社の資本が入った、神田小川町に本社を置く社員400名、創業65年の広告会社です。関係者にお聞きしたところ、広告会社でクラブチーム登録をするというのは、少なくとも東京では初めてのことでした。

当業界は陸上競技と縁が深く、何十年も前から健康保険組合で皇居を使ったマラソン大会を毎年10月に実施しております。以前は200名程の参加者でしたが、近年のマラソンブームの影響もあり、昨年は500名もの参加者が集まりました。

それに伴い、当社でも参加者が増え、練習でも経験者がビギナーを引っ張るという流れから、正式にクラブ登録しようという流れとなりました。

「陸上競技部」としたのは、あくまでマラソンだけでなく、真髓であるトラック&フィールドにも参加していきたいという思いがあるからです。短距離選手もおり、今後幅広い活動ができればと思っております。

部員というより仲間に近い、そんな環境を大切にしつつ、練習・大会に頑張っていきたいと思っておりますので、どうぞ宜しくお願いいたします。



東京学芸大学陸上同好会

東京学芸大学陸上同好会は平成19年11月に設立した、大学のサークル

としてはまだ出来たばかりのサークルです。練習会に参加できるメンバーは多いのですが、大会等に参加するメンバーは10数名です。

活動日は基本的に水曜日と土曜日、東京学芸大学内のグラウンドや府中陸上競技場を中心に練習をしています。

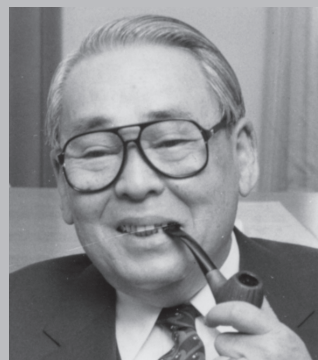
練習は短距離や長距離等の各種目にわかれるのと、楽しく走るのをメインとしたグループにわかれて、メリハリをつけて練習しています。

年間行事としては、府中記録会や関東文系学部親善大会、関東クラブ対抗大会等のトラックレースに参加したり、ウォーク&ランフェスタというイベント行事のお手伝いに参加しています。冬季には、関東クラブ対抗駅伝や府中駅伝、武相駅伝等の駅伝大会にも参加しています。

また、大学の夏休みや春休みには、サークル内の親睦も兼ねた合宿を行ったり、旅行に行ったりしています。他大学や留学生も参加していて、楽しく練習しています。また、他大学の陸上同好会との合同練習なども出来たらと思っています。どなたでもぜひ一緒に練習に来てください。



訃報



平成22年5月30日急性心不全のため享年94才で逝去された日本陸上競技連盟青木半治名誉会長のお別れ会が6月11日(金)、都内のホテルオークラ東京で行われた。

「青木半治お別れ会」は11時30分から式典と13時からの一般献花の2部構成で行われ、およそ1,300名の参列者が故青木半治名誉会長を偲んだ。

主催は(財)日本陸上競技連盟、(財)日本体育協会及び日本オリンピック委員会、3団体で開催した。

式典では発起人を代表して河野洋平日本陸連会長、森 喜朗日本体育協会会長および竹田恒和日本オリンピック委員会会長が挨拶され、国際陸上競技連盟ラミン・ディアック会長の弔辞をダラーン・アルハマド副会長が代読された。友人を代表してフジテレビジョン日枝 久代表取締役会長のお別れの言葉等があり、その後、代表献花、指名献花そして参列者献花が行われた。

およそ1,300人の参列者の中には日本スポーツ界で活躍されている方々を始め陸上界では都道府県陸協の役員を始め選手ではかつて日本の男子マラソンで活躍した瀬古利彦、ハンマー投の室伏広治、シドニーオリンピック女子マラソン優勝者高橋尚子等多くの関係者が最後のお別れに馳せ参じた。

さて青木半治さんの略歴について簡単に述べますが、1953年(昭和28年)に東京陸上競技協会理事長に就任され当協会発展の基礎を作られた人でもあります。

1961年(昭和36年)に現在の日本陸上競技連盟理事長、1969年(昭和44年)に日本体育協会、日本オリンピック委員会委員長、1975年(昭和50年)に日本陸上競技連盟会長、1989年(平成元年)日本体育協会会長に就任された。

青木半治さんは長年に渡り日本スポーツ界のリーダーとして活躍され、すべてのスポーツを愛され、今日のスポーツ界の隆盛を築かれました。我々はその志を継承し、益々日本スポーツ界の発展に努力しなければならぬと深く感じます。青木半治さんの御指導に深く感謝を申し上げます。

東京陸上競技協会 副会長 大串啓二

写真提供…東京新聞

平成22年度賛助会員一覧

- 豊泉 和男 (板橋区)
- 高木 富士子 (日本航空RC)
- 赤木 節二 (杉並区)
- 吉川 進衛 (江戸川区)
- 河井 深井 (北区)
- 皆藤 安之 (東京茗友会)
- 佐藤 良男 (江戸川区)
- 松井 武弘 (狛江市)
- 野村 達也 (江戸川区)
- 染谷 淳実 (江戸川区)
- 石田 汎 (立川市)
- 宮崎 常勝 (江東区)
- 栗山 直司 (新宿区)
- 中村 玲 (杉並区)
- 梶原 玲 (陸上競技協会)
- 杉並区陸上競技協会
- 上保 龍志 (東京陸協)
- 田代 清久 (多摩川陸上競技クラブ)
- 多摩川陸上競技クラブ
- 水久保 亮一 (法友陸上会)
- 藤田 幸雄 (府中市)
- 柏木 健治 (東京ランニング)
- 大野 正芳 (東村山市)
- 金子 正芳 (有楽陸友会)
- 森中 カツミ (葛飾区)
- 五味 恵 (東京陸協)
- 瀬戸口 正雄 (東京陸協)
- 西宮 成幸 (府中市)
- 中尾 洋 (東京陸協)
- 小島 壽一郎 (府中市)
- 小竹 勝太郎 (府中市)
- 伊藤 慎一 (東京陸協)
- 荻田 勝久 (東京陸協)
- 新宿区陸上競技協会
- 尾崎 宏二 (東京ラビッツ)
- 川島 康男 (杉並AC)
- 井嶋 博隆 (町田市)
- 田中 賢治 (立川市)
- 原 利雄 (練馬区)
- 河井 奈津子 (練馬区)
- 角田 俊平 (練馬区)
- 能子 紀志 (練馬区)

(平成二十二年六月八日現在)



東京陸上競技協会元会長

小掛照二氏死去を悼む

東京陸協会長を平成17年4月より21年3月まで2期4年間を精力的に努められた小掛照二氏が、平成22年5月9日午前9時43分、肝不全のため、都内の順大病院で亡くなられました。77歳でした。誠に残念で、ご冥福を心よりお祈り申し上げます。

小掛氏は、日本陸上のお家芸と呼ばれた男子三段跳びの元世界記録保持者で、日本陸連やJOCで副会長を務められました。

広島県出身。戦前の五輪で三大会連続金メダルの織田幹雄、南部忠平、田島直人に続く三段跳びの後継者として期待を集め、広島上下高校時代から跳躍選手として活躍。早大を経て大昭和製紙入社後に才能が開花し、1956年メルボルン五輪の直前16メートル48の当時世界新記録をマークしました。

一躍金メダル候補に躍り出しましたが、大会前に足首を痛める不運も重なり、五輪は8位に終わりました。

東京陸協では強い東京を唱え、選手強化に努める傍ら、東京マラソンに並ぶ東京ハーフマラソンの実現に向けてご尽力中の出来ごとでした。

東京陸上競技協会 副会長 内田 勇

編集後記

「飛翔93号の

編集後記について」

飛翔93号編集後記の内容について東陸理事会および総会において、厳しい意見が出ました。

確かにあの内容は編集後記として不適切であり、広報部長としてこの内容を取り消し、心よりお詫び申し上げますとともに、二度とこのような事が無いように務めることをお約束申し上げます。

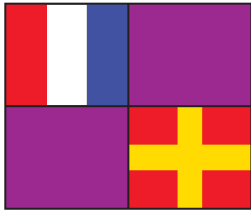
広報部長 井口 輝男

編集班長 大内 邦彦

編集員 高祖 勝市

森中カツミ

久保岡佳正



飛翔

No.95 東京陸協会報

2011(平成23)年1月26日発行

発行
(社)東京陸上競技協会
〒160-0021
新宿区歌舞伎町1-28-3
武井ビル4階
電話 03-3203-6123
FAX 03-5292-0196
HP <http://www.toriku.or.jp>

新しい年を迎えて

会長 石原伸晃



新年明けましておめでとうございます。皆様良いお年をお迎えのことと
思います。

私が会長に就任いたしましたから2年目となりますが、その間に東京陸協と
日本陸連・東京都との連携はますます強くなり、期待も高まっております。
このことは東京陸協会員の皆様のご協力・ご活躍の結果であると大変うれしく
思います。

本年は東京陸協の公益法人化移行に向けて具体的な内容を皆さんに提案し、
判断を仰ぐという重要な課題があります。時代の変化に対応し、都民の信頼を
得る新しい東京陸協を作りあげる大切な年であります。

また、2年後の2013年にはリニューアルした味の素スタジアムにおいて
第97回日本選手権大会そして第68回国民体育大会の開催が決定しております。
すでに競技会運営・選手強化の取り組みが進められておりますが、両大会の成
功には本年そして来年の2年間の緻密な計画と強力な実行力がなくてはなりま
せん。

私といたしましては可能な限り競技会に伺い、東京の選手そして競技役員の
皆様の活躍を応援させていただき、多くの会員の方とお話をさせていただく機
会を作りたいと考えております。

東京陸協の更なる発展を期待しております。

平成二十五年度の東京国体決定

平成二十五年度の第六十八回国民体育大会を東京都で開催することが七月七日の日本体育協合理事会で正式に決定しました。東京での開催は一九五九年以来で五十四年ぶり三回目となります。

石原慎太郎知事は「国内最高のスポーツ大会をめざし、先進的な環境対策など、東京ならではの国体を実現するため一層の工夫を凝らす」との談話を発表しています。

東京陸協としては、すでに「東京国体対策委員会」を設立し、大会へ向けて東京都ならびに陸上競技の開催市町村であります調布市との打ち合わせを進めるとともに、千葉国体の視察なども実施し開催に向けての取り組みに入っています。

開催年が近づくとともに、会員の皆様方のお力添えをお願いすることが多くなると思いますが東京国体成功のために、積極的な協力をお願いいたします。

現在までに決定されている事項についてご紹介いたします。

◆大会会期◆

一：全体会期

平成二十五年九月二十八日(土) から十月十四日(月)まで

二：第六十八回国民体育大会

平成二十五年九月二十八日(土) から十月八日(火)まで

総合開会式

九月二十八日(土)

味の素スタジアム

総合閉会式

十月八日(火)

味の素スタジアム

陸上競技

十月四日(金)～八日(火)

味の素スタジアム

三：第十三回全国障害者スポーツ大会

平成二十五年十月十二日(土)～十四日(月)

味の素スタジアム

◆大会愛称◆

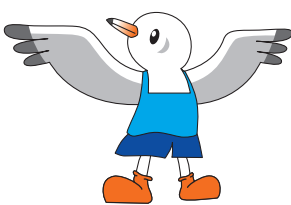
「スポーツ祭東京二〇一三」

平成二十五年に開催される第六十八回国民体育大会、第十三回全国障害者スポーツ大会を一つのスポーツの祭典としたものです。

◆大会スローガン◆

「東京に 多摩に 島々に 羽ばたけアスリート」

◆マスコミキャラクター◆



都民の鳥「ゆりかもめ」がモチーフ。翼を大きく広げたデザインは、夢や目標に向かって力強く羽ばたこうとする姿を表しています。

愛称「ゆり」と

応募総数六一七八件の中から選ばれました。

「ゆり」とは、都民の鳥「ゆりかもめ」がモチーフです。「アスリート」や多くの人々が、東京を舞台に、夢と目標に向かって羽ばたきたいという、スポーツ祭東京二〇一三を応援します。

◆陸上競技の会場は、「味の素スタジアム」

サッカー等の球技場として使用されてきましたが、東京国体に向けて平成二十二年十二月より陸上競技場としての改修工事が始まりました。第一種公認陸上競技場及びIAAFクラス2を取得するための工事が進められ、平成二十四年

三月に検定を受け、合格すると四月より公認陸上競技会が開催されることとなります。その計画されている内容は

【メイン競技場】

走路(九レーン) ローラーエンボス仕上げ

走高跳(三カ所) 走幅跳(六カ所)

棒高跳(六カ所) 三段跳(六カ所)

ハンマー投(二カ所) やり投(二カ所)

砲丸投(三カ所) 円盤投(二カ所)

すでに整備されている内容は

大型映像施設(二カ所)

夜間照明、室内雨天走路(有り)

観客収容数(四九九七〇席)

駐車場収容台数(九〇〇台)

B1……フィールド階

(大会本部1・2 更衣室1・2 役員室1・2)

ウォームアップ室1・2)

1F……メインエントランス階

(レセプションホール 会議室1・2・3)

インタビュー室 報道ラウンジ)

3F……コンコース階

(招待席 記者席 特別観覧室 VIP室)

5F……オペレーション室・放送ブース階

(オペレーション室1・2)

【サブ競技場】

第三種公認陸上競技場取得予定

走路(八レーン) ローラーエンボス仕上げ

走高跳(三カ所) 走幅跳(四カ所)

棒高跳(四カ所) 三段跳(四カ所)

ハンマー投(二カ所) やり投(二カ所)

砲丸投(三カ所) 円盤投(二カ所)

副会長

東京国体対策委員長 鈴木 存

大会記録報告

第65回国民体育大会

ゆめ半島・千葉国体2010は、平成22年10月1日(金)～5日(火)秋晴れの千葉県総合スポーツセンター陸上競技場で熱戦が繰り広げられました。

陸上競技の成績は、8位でした。主な上位記録は次の通り。

優勝

成年男子 走幅跳 猿山 力也 (モンテローザ) 7 m 94

少年男子B 3000 m 打越 雄允 (国学院久我山高1) 8分25秒76

少年女子共通 800 m 鈴木 翔子 (白梅学園高2) 2分7秒46

2位

少年男子共通 800 m 三武 潤 (城西大城西高1) 1分52秒11

3位

成年男子 棒高跳 川口 直哉 (モンテローザ) 5 m 20

成年男子 やり投 山本 一喜 (モンテローザ) 73 m 53

入賞者合計・16名

監督、コーチ、スタッフの皆さんの絶えまない日ごろのトレーニングが実を結んだものと思われます。

今後も練習を重ね、今年の山口国体には一段の飛躍を期待しています。

(記事 大内・高祖・森中)

入賞者より一言

【第1日目】10月1日(金)

尾崎 好美

(成年女子・5000m・4位) (第一生命)

トップとの差が数秒だったので、一つでも上の順位に行けたら良かったのですが、入賞することができて良かった。

猿山 力也

(成年男子・走幅跳・優勝) (モンテローザ)

試合時間が長く、集中力、体力ともに厳しい試合でしたが、結果、優勝できて良かった。今年の世界選手権に向け、これからも頑張っていきたいと思います。

【第2日目】10月2日(土)

幸田 和記

(少年男子B・砲丸投・6位) (東京高1年)

6位という結果で悔しさの残る試合でした。自分のベストが出せれば4位に入れたのにそこで出せなかったのが悔しかった。これからは5投や6投目で記録が出せるようにしたい。

ト部 蘭

(少年女子B・1500m・5位・都中学新記録) (西戸山中3年)

自己ベスト、都記録を予選から更に更新でき、自信のつく試合にすることができました。今回の走りや気持ちをこれからにつなげていきたいと思っています。

鈴木 翔子

(少年女子共通・800m・優勝) (白梅学園高2年)

やっと優勝することが出来ました。インターハイの悔しさを少しははらすことが出来たかなと思います。遠藤先生や東京チームの先生、支えてくれた方々のおかげです。

三武 潤

(少年男子共通・800m・2位) (城西大城西高1年)

アップ開始の時にある程度の緊張があり、とても良い環境でスタートにのぞむことができました。インターハイの悔しさをバネに自分では良いレースができたと思います。今後の大会も頑張りたい。

藤森 安奈

(少年女子B・100m・8位) (東京高1年)

今日はすごく調子がよかったです。決勝は自分の走りができませんでした。すごく悔しい思いをしたので、この気持ちを忘れずに次の大会は勝ちます！

多久 優麗花

(成年女子・棒高跳・8位タイ) (日本大2年)

自分の納得いく跳躍、結果ではなかったのですが、運良く8位に入賞することができたがこの悔しさを、次に絶対生かします。

川面 聡大

(成年男子・100m・7位) (中央大3年)

決勝に残り、7位という順位で東京都に貢献できたことは嬉しく思います。ですが、決勝の舞台で、体力面等での弱さが出てしまい、自分の納得のいく走りとは、程遠いものとなりました。今年は、

この国体で経験した反省を生かし、常に決勝では、自分のベストな走りができるようにして、また東京都に貢献したいと思います。

【第3日目】10月3日(日)

明石 顕

(成年男子・10000mW・5位) (東大クラブ)

昨年ゴール後失格という悔しい思いをしたのですが、今年はきちんと得点することができて良かった。

田辺 将大良

(少年男子B・110mH・4位) (東京高1年)

国体「初出場」ということで不安や心配がありました。全力を尽くした結果、4位に入賞することができました。先生方や皆さんの応援とサポートがあったからこそ自分は決勝に進み入賞することができたと思います。次は「優勝」を目標とし頑張ります。

川口 直哉

(成年男子・棒高跳・3位タイ) (モンテローザ)

今回は初めて東京都の代表として、成年男子棒高跳に参加させていただきました。記録はあまり良くありませんでしたが、順位をしっかりと確保し、点数を取れたことでホッとしています。三年後の東京国体優勝を目標にこれからも努力していきます。

元吉 雄基

(少年男子共通・走高跳・4位) (東京高3年)

結果は2m03で4位でした。インターハイでは「あと一步」のところで優勝を逃したので、今回はその「リベンジ」をしようと試合に臨んだのですが力を出し切ることができませんでした。

昨年の7位からは進歩しましたが、「優勝を・・・」と考えていただけに悔しい限りです。

【第4日目】10月4日(月)

鈴木 梨枝

(成年女子・砲丸投・8位) (九州情報大2年)

千葉国体では学生のトップに立とうと思って臨みましたが、不甲斐ない結果に終わりました。来年は人として砲丸投選手として大きくなって優勝するために帰ってきます。

山本 一喜

(成年男子・やり投・3位) (モンテローザ)

記録は良くありませんでしたが、3位で6点を獲得できたことは素

直に喜びたいと思います。来年は今年以上の成績を残したいと思いません。

【第5日目】10月5日(火)

打越 雄允

(少年男子B・3000m・優勝) (久我山高1年)

最後の種目ですごくプレッシャーがあったのですが、自分の力に自信を持って走ることができました。優勝できたのは応援してくれた方のおかげだと思うので感謝したい。これからも東京のために頑張りたい。



少女共通800m 優勝 鈴木翔子 (白梅学園高2)



成年男子 走幅跳 優勝 猿山力也 (モンテローザ)



少年男子B3000m 優勝 打越雄允 (久我山高1)

第50回東京女子陸上競技大会

(東京レディース陸上2010)

第50回東京女子陸上競技大会は、平成22年10月31日、国立競技場で開催され、全国から参加した選手は1070人、昨年の530人に比べ倍増しました。

また、大会新も33と続出し盛り上がった大会となりました。

小中学生の参加が増大したため、観客席が満員となるほど盛況で、応援も大歓声が上がリ、選手もそれに応じてよい成績を収めることが出来ました。

この大会は、国立競技場というまたとない会場であるため、夢にまで見た競技場で思う存分走り、跳び、投げる事が出来たことは選手にとって忘れられない思い出となった事と思います。

このように底辺を広げる根強い努力と根気が大会を盛り上げる原動力となり、活気を帯びた事は、将来が大変楽しみなものになり、今後益々盛り上がる大会となる事を期待します。

(記事・写真 大内邦彦)

大会主旨

女子選手の普及・強化、女性役員・審判員の資質向上を目的とし、さらに競技大会を通して社会貢献に携わる大会を開催する。

第50回記念大会として全国より選手が参加

*ピンクリボン運動に協力

寄付金付き記念パトンストラップ(ピンクリボンマーク付き)販売

関係団体に寄付

役員・審判員がピンクリボンマーク入りのウェア着用

プログラムにピンクリボンマークを付ける。ピンクリボン運動の紹介文を掲載し、パンフレットを配布
相談窓口開設
(記事 女子委員会委員長 山崎寿美子)

第5回東京アスレチックカーニバル

第5回東京アスレチックカーニバルは秋空中、平成22年11月14日、国立競技場で開催されました。今年には申込み定員数を制限したところ、申込み期間前に定数を超えて締め切る盛況ぶりでした。競技は九時から開始され、中学生・高校・一般の男子1000mではケンブリッジ飛鳥選手・原 洋介選手が10秒台をマーク。800mでは土屋健一選手・内田博一朗選手が1分56秒など好タイムが出ました。女子の1000mにはミズノの信岡紗希重選手が出場。女子中学4×100mでは星美学園中が49秒65をマークしました。最後に行われた高校女子4×100mリレーは東京高校が48秒16。男子も東京高校が41秒89で走り好タイムをマークしました。



アスレチックカーニバルの今年の新企画は、国際スポーツ東京委員会による「室伏広治、聖火台を磨く」を競技会の中に組み込みました。小学生・中学生・高校生の12名がハンマー投のオリンピック金メダリストの室伏選手と一緒に、由緒ある聖火台に立ち聖火台を磨きました。また、高校生のハンマー投の選手に30分間ワンポイントの指導をして頂く場面があったり、中学生砲丸投の上位入賞者にプレゼンターも務めて頂き、アスレチックカーニバル自体も非常に盛り上がりました。

(記事 競技部長 川島康男)
(写真 森中カツミ)

第26回東日本女子駅伝

第26回東日本女子駅伝は、平成22年11月14日(日)福島市信夫ヶ丘競技場で北海道から静岡県まで合計18チームが参加して開催されました。

東京チームは、昨年より1秒早いタイムでゴールしたにも拘わらず結果は4位でした。

昨年、長野県は、区間賞を1人も出さず、総合力で優勝しましたが、今年には区間賞を4人も取った千葉県が堂々と優勝をもち取りました。

東京チームは、川越学(セカンドウインドACC)新監督の下、各選手に目標タイムを与え、そのタイムをクリアすれば優勝ラインに残れ、又、各人が目標タイムを4秒短縮すれば歴代の記録を更新出来ると「檄」を飛ばしましたが及びませんでした。

優勝タイムは、目標タイムを30秒近くも上回る好記録であったため、たとえ目標タイムをクリアしたとしても優勝は出来なかった事になります。

今年はそのだけレベルの高い大会になり、年々楽しみな大会に成長してきています。

「選手の一言」にもありますように、来年は是非期待したいものです。
(記事・写真 大内邦彦)

順位	チーム名	記録
1	千葉	2時間18分02秒
2	埼玉	2時間18分59秒
3	長野	2時間19分28秒
4	東京	2時間19分52秒
5	栃木	2時間20分08秒
6	新潟	2時間20分34秒
7	神奈川	2時間21分23秒
8	宮城	2時間22分48秒
9	茨城	2時間23分10秒
10	山梨	2時間23分19秒
11	山形	2時間23分22秒
12	静岡	2時間23分55秒
13	群馬	2時間24分33秒
14	北海道	2時間24分54秒
15	福島	2時間25分03秒
16	秋田	2時間26分29秒
17	青森	2時間26分54秒
18	岩手	2時間31分01秒

東京は、レースに前半から波に乗れなかった事が大きな敗因となりました。
近年、東日本でもふるさと制度が導入され、他県チームのレベルアップが目立ってきました。それに対抗するには、より一層選手強化が必要になります。
常勝チーム東京を目指すには、優秀な一般選手の起用と中高校生を全国レベルに育成していくかなければなりませんので、関係各位のご協力を宜しく願います。
私は、本年より女子チームの指揮をとらせて

頂くことになりましたが、今回は馬場団長を始め、コーチの先生方に大変お世話になりました。また、過密スケジュールの中、選手を派遣頂いた所属先に対し深く感謝申し上げます。
(記事 監督 川越学)

1区 中尾 真理子(資生堂)

今回は東京チームの1区という大役を任せられましたが、期待に応える事ができず、自分の力の無さを痛感しました。
練習でやってきた事を出す事ができない精神面の弱さを克服していきたいと思います。
今回の経験を無駄にせず、これからの自分を生かしていきます。

2区 藤本 知佐(第一生命)

今回は、昨年のリベンジをかけて走りました。緊張もしましたが、気持ちよく走ることができ、自分の役割も果たすことができました。
雰囲気も良く、東京チームでの駅伝を楽しめました。また東京チームで走りたいと思います。

3区 信太 亜萌(都立上水高)

このような大きな舞台で走るのは初めてで不安でいっぱいだったのですが、良い経験が出来る本当によかった。チームに貢献する事が出来ず悔いを残すレースとなってしまったので、来年は悔いのない走りをしたい。

4区 関根 花観(町田市立金井中)

今回4区を走らせていただきました。やっぱり直前は凄く緊張していましたが、前の選手に追いつこうと頑張れました。しかし、課題も沢山残ったので京都ではもっと納得のいく走りをしたい。

5区 平田 裕美(資生堂)

初めて東京の代表として走らせて頂きました。普段、接することのない中高生と駅伝という競技を通じて、『同じ目標に向かい、結束できたこと』は本当に嬉しく幸せに思いました。また、サポートに回ってくれた選手、スタッフの皆さんのご尽力にも感謝致します。今回、目標の『優勝』は出来ませんでした。来年は全員が最高の笑顔で終われる結果を残したいと思います。

6区 茂木 美優(順天高)

東日本女子駅伝初出場ということで走らせて頂き、とてもよい経験が出来ました。調子はあまり良くなかったのですが、襷の力で良い走りへと変えられました。来年は区間賞、優勝を狙います。

7区 大槻 みちる(拓殖大学第一高)

自分は区間2位で悔しい結果でした。前半からもっと攻めの走りが出来れば良かったと思います。3年連続の区間賞が取りたかったし、チームも優勝したかった。

8区 有蘭 早優(宝仙学園中)

今回8区を走るのに当たって、最初の下りで良いリズムを作ったそのリズムのまま最後まで行くという目標がありました。緊張のあまりペースをしっかりと作れませんでした。悔しい思いはしたけれどこの経験を生かして、今後の都道府県駅伝や、東日本駅伝で東京チームに貢献したい。

9区 大平 美樹(三井住友海上)

今回、東京都の代表として東日本女子駅伝に初めて参加させて頂きました。

大会記録報告

話を聞いて軽い気持ちで参加したのですが、いざチームに合流してみるとスタッフのみならずの熱い思いと優勝候補であるという事、そして今まで東京都のアンカーを走られた方々の忽々たる顔ぶれを知り、そこで初めて事の重大さに気づきました。

本番では各区间でみんな頑張り、私は5位で襷を受けました。

私の前には栃木県チームと長野県チームが見えていました。

私はとにかく一つでも前にと思い走りました。栃木県チームを抜いた後長野県チームとの差がなかなか縮まらず、後半しつかり走りたかったのですが思うように体が動かず、結局長野県チームに追いつけないまま4位でゴールしました。

最低でももう1チーム抜かしていればみんなで表彰台上がれたのだと思うと本当に申し訳ない気持ちで一杯です。

また機会がありましたら是非参加させて頂きたい。



第2回 東京投てき競技会

平成22年11月20日(土)～21日(日)

立川公園陸上競技場

晩秋の立川競技場において第2回東京投てき競技会が快晴微風、気温17度と絶好のコンディションの中で参加230名の選手を迎えて盛況の中に開催された。

今春第1回大会の参加選手100名に比べ大幅な増加となり、1日では対応できず急遽2日間に分けての大会となった。

中学生、高校生の参加が多く、この中には東京国体に向け有望な選手も含まれており、次の第3回大会(来春)が待ち遠しい希望のもてる大会であった。

(記事・写真 高祖勝市)



都道府県駅伝選考会

全国都道府県対抗駅伝選考会は11月28日(日)大井ふ頭中央海浜公園陸上競技場で開催されました。いくつかの中長距離種目の記録会の中、中学・高校男女の選考レースには合わせて113名が出場し、東京都代表の座をめぐって熱戦が繰り広げられました。中学女子3000mには、卜部 蘭選手(西戸山中)がスタートから積極的に飛び出し、都中学記録を塗り替えるようなペースで独走。しかしながら、中学記録には5秒足りませんでした。9分43秒68の好タイムで代表の座を決めました。中学男子3000mでは、お互いにけん制し合う展開で、ラスト600mでスパートをかけた青山拓朗選手(柏葉中)がそのまま1着でゴールしました。午後からは高校の選考レースが行われ、女子5000mでは、今年の全国高校駅伝東京都代表校の順天高校の選手を中心にレースが展開され、その中でエース格の麻生孝瑛選手(順天高)がトップでゴール。男子5000mには、SB食品のビタン・カロキ選手が出場し、都内のトップレベルの高校生達をグイグイと引っ張るレース展開の中、最後まで付いて行った早稲田実業高校の武田凜太郎選手が14分36秒73の好タイムでゴールした。代表に選ばれた選手たちは東京都チームの代表として、全国都道府県対抗駅伝に出場いたします。

(競技部長 川島康男)

「東京マラソン 2011」大会について

東京マラソン財団（派遣） 島村雅之

●今2011大会と2010大会の相違点

- ① 今大会は2つの大会を兼ねています。
 - ・第95回日本陸上競技選手権大会男子マラソン
 - ・第13回世界陸上競技選手権大会男子代表選手選考会
- ② 6月30日、東京マラソンより、一般財団法人東京マラソン財団に組織移行した。
(主催が日本陸連・東京都から、一般財団法人東京マラソン財団へ同じく移行。)
- ③ 募集について
 - ・8月1日から8月31日まで、35,000名募集
応募総数 335,147名(定員の約9.6倍、マラソン294,469名 10km40,678名)
 - ・10月、35,000名の外に、チャリティーランナーとして1,000名追加募集決定しました。
 - ・「東京マラソンファミリーラン2011」として、1,000組、2,000名募集(昨年は500組1,000名)
 - ・ボランティア10,000名募集、10月18日開始、翌日10月19日、13時定員締切。
- ④ 東京マラソン財団の3名派遣体制から、東陸事務局内に東陸東京マラソン委員会(委員長 田中専務理事)を新設、派遣3名と連動し、6月から活動開始しました。

●東京マラソンの魅力

- ① 通常道路は車両専用と歩行者用で構成・運用管理されておりますが、大会当日は、広範囲に渡り交通規制が行なわれます。普段は走ることが出来ない道路を走れ、制限時間が7時間ということもあり、初心者でもフルマラソンに初挑戦できる大会です。
- ② 陸連・東京都・警視庁交通規制課指導の下、東京都庁をスタートし、国道・都道・区道を走り、且つ、四ツ谷・日比谷・銀座・浅草・日本橋・築地など東京名所を織り込んだ観光も兼ねた楽しいコースです。
- ③ 世界5大都市型マラソン(ボストン・ロンドン・ベルリン・シカゴ・ニューヨーク)大会とならび、3万5千人を国・内外から応募・抽選した、IAAF公認の(ゴールドラベル)都市マラソン大会です。
- ④ 世界一、安心安全な(死亡者を出さない)救護組織及び運用体制を基に、救護業務を担当している。
救護所：コース沿道に15ヶ所、前半は約5kmおきに、後半は2～3kmごとに救護所設置、医師・看護師・トレーナーが常駐する。
BLS隊(コース沿道1km弱ごとに、BLS隊を置く(Basic Life Support 一時救命処置)現場救護所スタッフ及びランニングドクターとも協力し、救命処置を行なう。
モバイル隊は、2名1組で自転車に乗ってAED(Automated External Defibrillator 自動体外式除細動器)担当地域を巡回する。
22コースで、傷病者を発見した場合BSL隊と同様の業務を担当する。
- ⑤ どんな悪条件下でも、走り始めれば、素直な笑顔と頑張れの声援に背中を押され、競技者・競技役員・ボランティア・観客も、その達成感に「ありがとう」「お疲れ様でした」のフィニッシュが迎えてくれる、「東京がひとつになる日」・・・忘れがたい持ちきれないほどのお土産付き・・・祭り演出の原点です。

以上、東京マラソン2011大会も宜しく申し上げます。

2011年審判講習会

(社)東京陸上競技協会・審判部

第1回 3月5日(土)

立川市・昭和第一学園

立川市栄町2-45-8

JR立川駅北口下車 バス6-9番

8分 昭和学園下車

〓 伝達・新B 〓

第2回 3月6日(日)

品川区・立正大学講堂(高体連共催)

品川区大崎4-2-16

JR大崎駅下車 徒歩5分

JR五反田駅下車 徒歩8分

〓 伝達・新B 〓

第3回 3月12日(土)

板橋区・グリーンホール

板橋区栄町36-1

東上線大山駅下車 徒歩5分

都営地下鉄三田線板橋区役所下車 徒歩8分

〓 伝達・新B 〓

第4回 3月19日(土)

武蔵野市・武蔵野市総合体育館

武蔵野市吉祥寺北町5-11-20

JR三鷹駅下車 徒歩14分

西武新宿線東伏見駅下車 徒歩15分

〓 伝達・新B 〓

第5回 3月21日(祝)

青梅市・霞共益会館(青梅市陸協主催)

青梅市野上町2-21-5

JR河辺駅下車 徒歩20分

〓 伝達・新B 〓

第6回 3月27日(日)

府中市・府中市教育センター

府中市府中町1-32

京王線府中駅下車 徒歩8分

JR武蔵野線北府中駅下車 徒歩5分

〓 伝達・新B 〓

第7回 4月2日(土)

大島町・大島町役場

大島町元町1-1-14

〓 伝達・新B 〓

受付・開講時刻…大島以外 受付 9時15分 開講時刻 10時00分

*9時00分以前には来場しないでください。

大島 受付 10時30分 開講時刻 11時00分

受講料…有資格者 1,500円 B級資格取得希望者 2,000円

B級資格取得について

①B級資格取得希望者の受講資格は2011年3月31日現在で18歳以上65歳以下です。

②心身ともに健全で、積極性があり責任感、協調性のある者。

③各加入団体とも2名以上若手を受講させてください。

④各会場とも新B級資格取得希望者対象の講習会を実施いたします。

平成23年度 東京陸上競技協会主要競技会日程 (案)

	日程	曜日	大会名	競技場
1	4月30日～ 5月1日	土・日	第74回東京陸上選手権大会 兼 第66回国民体育大会東京都代表選手選考会	国立競技場
	5月1日	日	ハンマー投げ	大井
2	6月4日～ 6月5日	土・日	第27回東京リレーカーニバル	夢の島
3	7月3日	日	第27回全国小学生陸上交流大会代表選考会	駒沢
4	7月17日	日	第2回東京ナイター陸上 兼 第66回国民体育大会東京都代表選手選考会	国立競技場
5	9月10日～ 9月11日	土・日	第23回東京ジュニア陸上競技大会 兼 第42回ジュニアオリンピック陸上競技大会東京都 代表選考会	夢の島
6	11月13日	日	第51回東京女子陸上競技大会	駒沢
7	1月1日	祝	第60回元旦競歩大会 兼 第74回東京選手権競歩大会	神宮外苑

平成23年度(2011年度) 日本陸連主要競技会日程

主催大会

- 4月17日(日) 第95回日本選手権50km競歩 輪島(石川)
- 6月10日(金) 第95回日本陸上競技選手権 熊谷(埼玉)
- 8月3日(水) 第64回全国高校陸上 北上(岩手)
- 19日(金) 第38回全国中学陸上 鴻ノ池(奈良)
- 26日(金) 第27回全国小学生陸上 日産スタジアム(神奈川)
- 10月7日(金) 第66回国民体育大会 維新百年記念(山口)
- 28日(金) 第42回ジュニアオリンピック 日産スタジアム(神奈川)

平成24年(2012)

- 11月5日(土) 第24回全国スポレク 県総合(栃木)
- 12月18日(日) 第19回全国中学駅伝(山口)
- 25日(日) 男子第62回・女子第23回全国高校駅伝(京都)
- 平成24年(2012)
 - 1月15日(日) 第30回都道府県対抗女子駅伝(京都)
 - 22日(日) 第17回都道府県対抗男子駅伝(広島)
 - 2月26日(日) 2012東京マラソン(東京)

後援大会

- 9月23日(祝・金) 第59回全日本実業団 県鳴門総合(徳島)
- 11月13日(日) 第27回東日本女子駅伝(福島)
- 12月18日(日) 第31回全日本実業団女子駅伝(宮城)
- 平成24年(2012)
 - 1月1日(祝・日) 第56回緒全日本実業団駅伝 前橋(群馬)
 - 1日(祝・日) 第60回元旦競歩 絵画館(東京)
 - 2日(月) 箱根駅伝
 - 2月19日(日) 第46回青梅マラソン 青梅(東京)

国際大会

- 8月27日(土) 第13回世界陸上競技選手権 テグ(韓国)

全日本マスターズ陸上・24年ぶり国立競技場で開催

第31回全日本マスターズ陸上競技選手権大会が久しぶりに東京で開催されました。マスターズ全国大会は、各県持ち回りで実施しており、東京では、1982年の第3回、1986年の第7回に続いて3回目の開催となりました。

主催は日本マスターズ、共催は東京陸協、主管は東京マスターズ。参加者数は2084名で、初めて2000名を越えました。過去の参加者数は、アジア大会を兼ねて行った第19回(沖縄)大会における1727名でした。

今大会の特徴は、競技日程が年代別に、別れたこと。即ち第1日目は65歳以上の男女、第2日目は50歳以上、最終日の第3日目は50歳未満の男女を対象に、それぞれ1日で競技を終了したことでした。しかし、懸念していた参加者数のずれは、殆ど見られず、左表の通り、700名前後と、パランスの良いエントリーが得られました。

	2010年9月	年代区分	男子	女子	合計
17日(金)	65歳以上		591	90	681
18日(土)	50歳以上		588	113	701
19日(日)	50歳未満		589	113	702
合計			1768	316	2084

3日間ともに好天に恵まれ、世界記録2、日本記録24、大会記録46、大会タイ1が誕生しました。3日間とも9時から19時まで競技運営が続き、審判役員の方々はさぞかしお疲れになったことと存じます。ご協力真に有難う御座いました。

東京マスターズ会長 井口輝男

紹介クラブ

ランニング・フォーラム

frun

ランニング・フォーラム(以下：エフラン)は、日本で唯一、ランナーの集まるネットワーク上の『場』として、1996年10月10日「ラティ社のパソコンフォーラムに『ばるばんて』の呪文と共に誕生しました。

テーマは『正しく走る』『ノーマライゼーション』『無理な頑張りの排除』の3本柱。

ランニングとその関連スポーツ愛好家および、それに興味を持つ一般の人々や関係者に対して、情報交換の場の提供、関連する情報の提供、イベントの企画・開催などの事業を行い、年齢・性別・職業・国籍・障害の有無などを超えた、仲間と共に楽しめるランニング文化を発信することを通して、豊かな



人間関係の醸成、それぞれの心と体の健康の増進に寄与することを目的としています。

発足当初から、障害者ランナーをサポートする会議室を開設し、伴走や練習法などの情報交換や交流に貢献、実業団選手を講師に技術の向上と交流の促進を図るなど、全国各地で合宿や練習会など多数開催しています。

2006年11月「ラティ社のパソコンフォーラム」を機にNPO法人ランニング・フォーラムを設立、現在ユーザー登録者数は全国老若男女800名を超えました。

気軽に<http://frun.jp>にアクセスしてみてください。走りの広場がそこにあります。

TAMAGAWA・ACC

今年度から東京陸協に所属させて頂きました、TAMAGAWA・ACCです。当クラブは、玉川大学陸上競技部に所属していたOB・OGが卒業後も競技を続けるにあたりチームを作ろうという事で発足しました。

創立1年目の今年は、男性3名女性11名の14名のメンバーが所属しています。これから少しずつ増えていけばと考えております。

現在は個々でレースに参加していますが、メンバーの職業がそれぞれ異なり、子供を持つ会員もいるため、いまだ定期的な練習会などの活動を行えていない状況です。これからのロードレース、駅伝にもチー



ムで参加したいと思っています。

学生時代と変わらず、向上心を忘れずに、和気あいあいと玉川大学女子陸上部のスローガンでもある、「強く、楽しく、美しく」をモットーに練習・大会に頑張っていきたいと思っておりますので、どうぞ宜しくお願い致します。

栄章おめでとうございます

平成二十一年度

秩父宮章

故宮岡

芳久

(東京陸協理事)



豊島富美子

(板橋陸協副会長)



正川 澄夫

(本部・全国高等学校体育連盟)



平沼亮三章

芳賀 義信

(大東文化大学第一高等学校 陸上部監督)



河野謙三章

小池 孝

(中体連強化委員)



春日弘章

女部田 亮

(東京高等学校)



河野一郎章

三武 潤

(練馬区立東中学校)



日本アスレティック・

アワード2010受賞

特別賞

セカンドウィンドACC

(川越 学)

平成21年度追加賛助会員一覧

- 長谷部 実 (東京陸協)
 - 荒川 恭行 (高根陸協)
 - マツト株式会社
 - 山崎 善高
 - 野阪 裕
 - 矢野 達夫
 - 郡司 位秀
 - 市村 眞 (江戸川)
 - 原 めぐみ (CLUB MY☆STAR)
 - 島田 博行 (霞ヶ丘楽走会)
 - 平内 誠
 - 山本 国雄
 - 福島 雄吉 (北町陸上クラブ)
 - 井上 敦夫 (東京消防庁)
- 平成22年10月18日現在

訃報

多摩川陸上競技クラブ会長阿部登氏(91歳)が心不全のため、10月22日逝去されました。謹んでおくりあげ申し上げます。

編集後記

編集部では、12月20日発行を目指して準備に入りましたが、肝心の陸連、東陸の平成23年度事業日程を年内に入手できない

ことが確定したため、前年同様、1月発行に変更致しました。最近では、電子ブックが新聞、テレビ等で賑っております。東陸と会員との「心の橋渡し」の役目を、紙面を通して行うのが、克つての会報の役割でありました。

これからは、「電子を通して行う時代が来た。」として、私たち広報部は、この会報の記事全てがホームページでも見られるよう、手続きをしました。(飛翔第91号編集後記参照)

電子ブックの時代は、加速しそうです。私たちにも、会報を電子ブックでお届けするときに来るかも知れません。しかし、紙もホームページも電子ブックも、それぞれがメリット・デメリットを有していることは否めません。したがって紙の時代はまだまだ終わらないと考え、身を引き縮めて任務に就かなければならないと考えているところがあります。

どうか2011年度もよろしくお願い申し上げます。

- 広報部長 井口 輝男
- 編集班長 大内 邦彦
- 編集員 久保岡佳正
- 森中カツミ
- 高祖 勝市